

構造図自動生成の 基本操作





MIDAS IT MIDAS ITは、工学技術用ソフトウェア開発および普及、そして構造分野のエンジニアリングサービスとウェブビジネス 統合ソリューションを提供する会社です。 1989年から活動を開始し、2000年9月にマイダスアイティを設立、現在は約600名の世界的な専門技術者を保有し日本、 アメリカ、中国、インド、ロシア、イギリス、ドバイ、シンガポール、フィリピンの現地法人や35ヶ国の代理店などの全世界 ネットワークを通し、110ヶ国に工学技術用ソフトウェアを販売する世界的な企業として成長しました。

MIDAS IT マイダスアイティジャパンは、マイダスアイティの日本法人です。

JAPAN 2008年に建築工学技術用ソフトウェアの普及からスタートし、現在は土木/地盤/機械の分野まで事業を拡張しています。 日本国内では1,300社6,500ライセンスが使用されており、建築分野から土木/地盤分野(橋梁、トンネル、地下構造物、 土構造物等)、機械分野(自動車、精密機器、医療等)にかけて、多分野で活用されるまでに成長しました。

PRODUCT HISTORY	2002	2004	2006	2008	2010	2012	2013	2014	2017	2020
	Gen	Civil	FEA	日本法人 設立	GTS (旧、GTS NX) NFX	iGen, Soilworks	Soilworks for FILP, Soilworks for LIQCA	eGen-RC, Drawing, GTS NX, Geo XD	eGen-S, CAD ロボ SOLIFLUK F CIM	E,



構造図自動生成の基本操作

]	Drawingの概念		
	1.1 はじめに	•••••	2
	1.2 画面構成	•••••	3
	1.3 CAD基本操作	•••••	4
	1.4 2つのモードとオプションテンプレート	•••••	6
	1.5 構造図 自動生成フロー	•••••	8
	2. 構造図自動生成		
	2.1 ファイルの読込み		
	a. eGenファイル	•••••	10
	b. ST-Bridge形式ファイルから自動	生成する場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
	2.2 伏図を生成	•••••	15
	2.3 軸組図を生成	•••••	23
	2.4 断面図を生成	•••••	31
	2.5 部材リストを生成	•••••	39
	2.6 印刷, CADファイル書き出し	•••••	45
	3. 構造図生成の基本設定		
	3.1 図面枠の効用	•••••	50
	3.2 図面枠の登録	•••••	52
	3.3 オプション設定 - 伏図	•••••	57
	課題. 伏図生成 3F 伏図	•••••	63
	3.4 オプション設定 - 軸組図	•••••	67
	課題. 軸組図生成 X5 軸組図	•••••	75
	軸組図生成 Y3 軸組図		
	3.5 オプション設定 - 断面図	••••••	81
	課題. 断面図生成 A-A'断面図	•••••	89
	断面図生成 B-B'断面図		
	3.6 オプション設定 - 部材リスト	••••••	95
	課題. 部材リスト生成 RC大梁リ	スト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	111
	3.7 オフション設定 - 鉄筋記号グルー	フの登録	115
	4. 困ったときは	•••••	121

midas Drawing 構造図自動生成

Drawing は構造図を自動生成できる二次元情報CADです。

一貫計算プログラムである midas eGen ファイルを読み込むことで構造図を生成することが出来ます。

また、midas eGen では ST-Bridge形式ファイル(Ver.1.4)に対応しています。

他社の一貫計算ソフトから書き出した ST-Bridge形式ファイルを midas eGen ファイルにデータ変換することで自動生成が可能となります。 計算ソフトのファイルを読み込んで自動生成するので、今まで構造計算モデルと図面の間で生じていた不整合を防ぐことにも有効です。



midas Drawing 自動生成できる構造図の種類

小区 ・RC部材 ・S部材 1. 一般階伏図 ・RC部材 ・S部材 2. 柱芯図 1.柱 リスト 1.柱銀骨 リスト 断面形式 3. 杭伏図 2.大梁・片持ち梁 リスト 2.柱鉄骨 リスト 断面形式 4. 基礎伏図 3.小梁 リスト 2.大梁・片持ち梁 リスト 5. 層不整形対応図面 4.地中梁 リスト 3.大梁・片持ち梁 リスト 断面形式 5. 層 不整形対応図面 4.地中梁 リスト 3.大梁・片持ち梁 リスト 断面形式 6.スラブス リスト 5.小梁 リスト 断面形式 6.スラブス リスト STYLE-01 7.スラブス リスト STYLE-02 7.スラブス リスト 8.ガレース リスト 1. 構造断面図 9.独立基礎 リスト 1. 構造断面図 10.布基礎 リスト 11.ベた基礎 リスト STYLE-01 12.ベた基礎 リスト 12.ベた基礎 リスト 11.素出柱脚 リスト 14.現場打ち杭 リスト 11.露出柱脚 リスト 15.既製杭 リスト 11.露出柱脚 リスト

※一般社団法人 buildingSMART Japanにて策定されている建築構造分野での情報交換のための標準フォーマットです。



Drawingは、CADソフトに自動図面生成機能が搭載されたソフトウェアです。 AutoCAD LT相当の2次元CAD機能を使用することが出来ます。 ここでは、基本的なマウス操作を学習します。

■ マウスの操作



拡大(zoom in) ⇒マウスホイール上回し

縮小(zoom out) ⇒マウスホイール下回し

●面移動(pan) ⇒マウスホイールを押しながらマウスを動かす

画面全体(zoom all) ⇒マウスホイールダブルクリック

■ 画面の操作



■ オブジェクト選択





<mark>右→左</mark> : 枠の線にかかるオブジェクトが選択されます。

■ 作図·編集

作図と編集のコマンド実行はメインメニュー、アイコンメニュー、コマンドを直接入力、右クリックメニューの4通りの方法があります。

1.メインメニューからプルダウンして選択

- アテイル(F) 編集(E) ビュー(V) 挿入(I) 形式(O) ツール(T) 作成(D) 寸法(N) 修正(M) ウィンドウ(W) 情報(A) 図面生成(G) 図面更新(U)	
多 ♥米樹全■ 0 ▼ ByLayer ▼ 古(の) ▼	
∽每∰ 李臻臻 音音名。・─→二前≓↔╱│ 「「「「「「「」」」 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	
全層面層仰無間計畫臺舞び図晶ズ十億一() 編分0.) - 総分0.) - 86番愛参番怒魔。	
────────	

2.ツールバーからアイコンを選択

	ن بك 🗃 🖷 🗧	±a ← -	• _					CAD ロポ	- Project1					- 1	n x
	ファイル (F)	編集(E)	Ľı−(V)	揮入 (I)	形式 (0)	ツール (T)	作成 (D)	寸法 (N)	修正 (M)	ウィンドウ (W)	情報[(A)	図面生成 (G)			
S	♥米衡■■	0	•	-	ByLayer	- 1		— ByLayer 🖓	- 1	ByLayer	-		1		
	i f	f 🚮 🖓	fi -7 ,		• = = =	<u>⊒</u> ⊷ ∠ ⊿	5 O 🗆 /	$\neg \Theta \otimes$	⊙ 🖻 🖾	II 🖉 🖉 🖉	1 40 90 Fe	::: ·:: .:: .:: .:: .:: .:: .:: .:: .::			
æ	🖬 🖻 🖥 🛍	== III II	▲ ⊕ 🖪	Ü 🛛	6×+-	₿-→ ₿	* < <	-+ =i =	📏 🗓 Ŭ	l 🕯 , 🗐 🕯	á 45 27 1	5 🛋 👯 🙀	-		

3.コマンドウィンドウにコマンドを直接入力



4.右クリックメニューから選択







Drawingは、一般的なCAD機能を持った「CADモード」と、自動で図を生成する「自動生成モード」の2つの空間を切り替えながら図面を仕上げていきます。



eGenファイルを読込み、図を自動生成するモードです。

(2) CADE-F

自動生成した図を配置してCADで編集するモードです。 印刷やDXFファイルへの書き出しはCADモードで行います。



自動生成図はオプションテンプレートの設定により生成されます。 オプションテンプレートの設定を変更することで、今まで通りの スタイルに近づけて図を生成することが可能です。 オプションテンプレートは「伏軸図面用」と「部材リスト用」に 分かれています。 ・伏軸図面オプションテンプレート

・部材リストオプションテンプレート



- (4) モードの切替え方法 (3つの方法)
- ① [メインメニュー>ウィンドウ>モード]を選択
- 2 [ツリーメニュー] にてマウス右クリックメニューより「このモードに切替え」をクリック
- ③ [ツリーメニュー]にてダブルクリック











■部材リストオプションテンプレート部材種別

※STYLE01は断面形式、STYLE02は表形式





構造図自動生成フロー





2. 構造図自動生成

- 2. 構造図自動生成
 - 2.1 ファイルの読込み
 - a. eGenファイルから自動生成する場合
 - b. ST-Bridge形式ファイルから自動生成する場合
 - 2.2 伏図の生成
 - 2.3 軸組図の生成
 - 2.4 断面図の生成
 - 2.5 部材リストの生成
 - 2.6 印刷, CADファイル書き出し

Drawing に eGen ファイルを読み込むには2つの方法があります。 Drawing メニューから eGen ファイルを読込む方法と、 eGen メニューから Drawing を起動して読み込む方法です。

a. eGenファイルから自動生成する場合

Drawingを起動するとCADモードにて新規ファイルが開いている状態です。そのまま「eGenファイルを開く」を選択してください。

自動生成モード

7



b. ST-Bridge形式ファイルから自動生成する場合

他社の一貫構造計算のデータ(ST-Bridge形式ファイル)はeGenファイルにデータ変換が必要です。 ここでは eGen に ST-Bridge形式ファイルを読み込み、 eGen ファイルとして保存してから Drawing に読み込む方法を紹介します。



midas eGen.exe

1日日の成: 18日 モデリング 司主					_ □ X • 🖺 🗎 • _ σ X
	• X 040 • • •		CAN ITTEL		
A-A-D REFORDED		2 71	ビゲーションを閉じ	<u>а</u> ва ка	
	MUSS ###59#	ナビゲーション midas BO&TOM #IC##T00423IC7#-	eGen I Drawing Hu#Ti	× *******	
	lecture426 様 ようこそ たらとLitecture		Ē		
	E-mail lecture426@ma		<u> </u>	2019.05.07	
	全自体時の変更	簡単生成モード	作図効率向上モード	2019.04.09	
	プログラム使用情報 使用本計 3 約 現在Ver, 260 最1	(RUN)ボタンを押すだけで 同語を自動で生成します。 今日時間 歳日308(5-10))	FORE を自分のスタイルに合わせたり FORE の目的を至めます。 今日中間、第125(月250-205)	9 2019 . 05 . 07	
	※ここでは内部パージョンを	-984089.4 • WER4681.4	 二次運利の入力・職業 合業加圧の回業特徴操 		
	kutek/7	・解析リストを自動文成	- 回至スタイルの確論 - 連続に対		
	jmkm68 kt87		- 単純の育りキレベル開催 - 新草型号の受益	2018 . 07 . 10	
	vum0512				
	midas eGen 出版用/ 发表用水一般的	■ お用りの力は[F1]を押してみてくださ	い、オンラインヘルプが表示されます。 □ 20ダイアログモ7回激表示	Lat.1	
	· · · · ·	このページは解決度に	280×1024に最適比されています。	*	
d Start Page ×			のいとつナッサ のいとま二 オウエード 回	3077-t) Internet and
101			9990X797 9990807 EXt=P II	080A777 8449A797 40A797	

3 新規プロジェ	ェクトを開く					
	> (Ctrl+N)	荷重	計算条件	設計業	è件	解析/設計
	RC 造 層間変位角制限	・ 直:1/200 -	▪ ×自動 · Y自動	• 企	₽ 構造階級 ● 構造中心 ◎ 層別構測	新算用距離 D直接指定 造種別
プロジェクト情報		モデル制御			 モデル制徒	EP
🧠 • 🗢 • 🔜 🚺 🕻	🖪 🖪 🕢 🕫 .	🕵 🕅 🛋 g	ar ar 🗛 I	R 🖪 🍾	🔭 All All	🗖 🗖 🖉

2.1 ファイルの読込み





	合 読 マ 保存 モデリ	על	8 プロジェク	トを保存				
整理 ▼ 新しいフォルタ	-					0		
 目 ビデオ ♪ ミュージック ■ コンピューター ▲ OS (C:) ○ 構造技術部 (¥¥192.1) ① ネットワーク 	 名前 サンプル; 6 E 	imeb	更新日時 2019/04/17 14:47	種類 MIDAS/eGen D	サイズ 606 KB		Pe	oint das eGenファイルの拡張子は
ファイル名(N): サンプ ファイルの種類(T): midas フォルダーの非表示	eGen Files (*.jmeb)			保存(S)	=+v>t	• •	[jm	neb]です。

9

Drawing を実行 [情報>ナビゲーション> Drawing実行]

eGenメニューの"Drawingを実行"を実行すると、 eGenファイルを読込んだ状態でDrawingが起動します。



ここでは、自動生成の流れを学習します。





自動生成モード Step1 生成する伏図の階を指定 ウィンドウ Item 🗈 オプションテンプレート 回 伏軸図面オプションテンプレート 🛅 Standard Drawing Template eGen JP 当 部材リストイノ: ヨンテンノレート 團。自動生成図面 CDrawing1 ィンドウ プロパティ 4 自動生成するスタイルを設定した「伏軸図面オプションテンプレート」を指定します 1 ※文字がオレンジ色になっているテンプレートのスタイルを使用して自動生成します。 伏図を自動生成するため、 伏図を生成 3 eGenファイルをDrawingデータに変換 [図面生成]>[**伏図を生成**]選択 ※伏図・軸組図を生成するための情報をDrawingデータに変換します。 図面生成(G) 図面更新(U) eGen -> Drawing データ変換処理中。。。 全体 (15/37) ڇ eGen情報を削除する 64% 3D モデルに書き出し 梁の交差部を処理します。 70% 📅 構造図面生成マネージャー 部材リストテンプレートの編集 🏥 構造設計概要を生成 222 伏図を生成 軸組図・断面図を生成 4 生成したい図面を選択 部材リストを生成 データ変換が終了すると、伏図生成のダイアログが表示されます。 生成したい図にチェックを入れて、OKボタンをクリック ■■ 物量算出書を生成 톏 文字の重なりを解消 📰 伏図を生成 図面セット 構造標準図面 -柱芯図 杭伏図 基礎伏図 一般階伏図 図面名 基準 FL 切断位置 可視深さ 縮尺 図面枠 **V** <t midas SHEET A3 1F 1.5 1:100 3 midas SHEET A3 2F 1.5 3 1:100 3F 1.5 1:100 midas SHEET A3 3 4F midas SHEET A3 1.5 3 1:100 5F 1:100 midas SHEET A3 1.5 3 R階 1:100 midas SHEET A3 1.5 3 構造図面生成マネージャー キャンセル ОК

自動生成モード

1

配置レベル (mm)

(73)

120

122

◎メニュー>[図面生成]>[伏図を生成]

■! 伏図を	E生成								×			
柱芯	図面セット 図 杭伏図	構造標準図面	大図	•	•							NO PILI
	0	図面名	2 基準 FL	3 切断位置	4 可視深さ	5 縮	र	6 図面林	2		an -	11
	1階 伏図		1F	1.5	3	1:1	00	midas SHE	ET A3		THE	
	2階 伏図		2F	1.5	3	1:1	00	midas SHE	ET A3		I YE	
	3階 伏図		3F	1.5	3	1:1	00	midas SHE	ET A3	\leq		
V	4階 伏図		4F	1.5	3	1:1	00	midas SHE	ET A3			
	5階 伏図		5F	1.5	3	1:1	00	midas SHE	ET A3			
	R階 伏図		R階	1.5	3	1:1	00	midas SHE	ET A3			
構造日	図面生成マネ	-974-			0	eGen>	ס -ב=ע	<u>∝</u> (·>[情報]	**>セル >[層別]]]		
	図面名				層別	刘情報						
ЖеG	enl/ベル	名称の情報を	マ映しています	t.	一層:	引概要						
下」 「F」 自重 変更	はDraw 動生成前 更すること	<u>に上記ダイアロ</u> なした。 に上記ダイアロク も可能です。	自動変換され	。 1ます。 を		Base レベル名	2 _{届名称}	意匠階高	FL-梁天端	梁天間距離	GL基準梁天 端LATIL	
						称 RF	-	(mm)	(mm) 300	(mm)	(mm) 14900	指定できませ
						5F	5F	3000	80	2780	12120	指定できませ
2	基準 FL	-				4F	4F	3000	80	3000	9120	指定できませ
	民力和					3F 2F	3F 2F	3000	150	3070	3050	指走 じきませ 指定できませ
<u>≈eG</u> e	en/曽名杉	小の情報を用い	しいるか確認	じさます。		1F	1F	3000	150	3000	50	指定できませ

∇回続は 38

Þ

Base

З▽切斷位置。

5 m

d in second

8<mark>7 (F</mark> ▲ **東**天和

STARE.

₽<mark>₩₩</mark>

19<mark>マダ 山東天地</mark>

£

(1)

1400

1126

Receinado Antion State Contraction Contr <u>sen/曽名利</u>の情報を用し いるか唯認でさます。

切断位置 3

※このレベルで切断された部材の断面を切断線として 生成します。(主に柱・壁・鉛直ブレース) 基準FLから切断面までの高さをメートル単位で設定します。 Drawingの基準値は1.5メートルです。

可視深さ Δ ※可視深さに入った断面以外の部材を陰線として 生成します。(主に梁・スラブ・下階柱,壁) 切断位置から下方向へ範囲を設定します。 Drawingの基準値は3mです。

縮尺

※任意の縮尺で自動生成します。 1:100、1/100など、表示方法も選択できます。 縮尺リストにて縮尺を追加することも可能です。

図面枠

※図面枠を指定すると、表題欄を意識した作図可能領域と 用紙サイズが同時に配置されます。 図面枠の登録方法は「基本操作偏-図面枠」をご覧下さい。



※ダイアログを閉じると、伏図の自動生成が始まります。

(72)

自動生成イメージ図 (3F伏図)







ウィンドC Item 画 図面 4 唱。自 4 唱。C	 ファイル(F) ファイル(F) (自動生成モー ブションテンフ 動生成図面 sample AD図面 値 cDrawing1 	▲ 編集(E) マ× ド) ゲレート	ਚ midas ਇੰਹ−(V) sample ×	Drawing - 挿入(1) 十	Project1 - 形式(O) ツー)	- □ × L(T) 作成(D) ▼
ウィンド * 自動始 コマンド _ GENEF eGenデ データ/伏 図面の	ク プロパティ E成モードを閉瞭 	部材く↓ ▶ 給します。 REPLANE をDrawing ます。 こした。		1 階	伏図	2階
) 62, 7 74.4	i入基点を指定。 253,0 ₩	∞>>: ●" 』 ≧ 試入起点;	► 日本 「日本」 「日本」 「日本」	Model	Layouti	

※配置したい作業空間内の位置をクリックまたは、座標を入力。 何もせずに「Enter」を押すと、0,0に配置されます。

	■ ■ せ ファイル(F	נבו ₪) ∛	a ← • 扁集(E)	→ . Ľı	mid .–(V)	as Dr }i	awing 奪入(I)	- Project 形式(O	1 り) ツ	– −ル(T)		× 作成(D]
ウインド	ל		# >	< sa	mple	× +						•
Item ■ ⊠ 7 4 ■, Ē 0, Ē 4 ■, Ē 0, Ē	面(自動生成 オプションラ 目動生成図面 sample AD図面 cDrawing	モード) テンプレ ロ 1	F									
ウィンド *自動: コマン - マン - JENEI eGenう デ別面の 挿入基	ウ プロパ 生成モード? () *** RATESTRU に変換しまし (図を作成し (図を作成し 生成が完) 点を指定く	ティ 部 翻動的 ICTURE ple>を した。 ていまし ひ,0>:	球/く∢ ます。 PLANE Drawing す。 た。		Å	1	皆	伏	X	2	曜	
▶_ 日 /A1日 A3日間	こ列間隔を打 隔(A1)/A2 開(A3)] <a3)< td=""><td>皆定 [A) 間隔(A) >:</td><td>0問『幕(A))/</td><td>● </td><td>• •</td><td>H</td><td>Model</td><td>Layout1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></a3)<>	皆定 [A) 間隔(A) >:	0問『幕(A))/	● 	• •	H	Model	Layout1				
547, -4110	2.3719, 0	₽] ₽	j į		U_	₩	# ⊾	6		=~		

2 配列間隔を指定

※用紙の配列間隔を指定します。例)「A3間隔(A3)」をクリック。

1階 伏図	2階 伏図

※用紙の間隔を空けたい場合は、 マウスを右へスライドさせて左クリックすると、 スライドさせた距離分が、用紙の空き間隔となります。







Step3 レイアウト調整

自動生成モード

レイアウト調整とは、**作図領域に自動生成**した図が収まるように寸法や**バブル**の位置を修正したり、重なったり不要な文字や寸法を 移動させたり非表示設定にして、見やすい図にすることです。詳しい調整の仕方は、「2.3.基本操作編-**レイアウト**」をご覧下さい。 そして、この調整をしておくと、調整したものを**テンプレートとして指定**し、2つ目以降の変更eGenモデルで生成したものは同じ調整が不要 になります。



Step4 CADモードに配置

自動生成モード CADモード

自動生成した図をCADモードに配置することにより、図面枠を配置し、CAD機能を使用して自由に追記し、印刷することが可能です。 また、内部参照を使用することで、今後設計変更した場合、設計変更eGenモデルで自動生成したものへ簡単に更新できます。 (自動生成図面の更新)

自動生成モードからCADモードへ切り替え	2 自動生成した図をCADモードに配置
[メニュー]>[ウィンドウ]>[CADモード]	※配置したい自動生成図をドラッグ&ドロップ。 複数の図面を同時に配置することも可能です。 その場合の配置位置は、自動生成モードの 配置間隔が適用されます。
ウインドウ(W) 情報(A) 図面生成(G) [
🛃 現在のウインドウをもとに新しいウインドウ作成	Item
現在のウィンドウをコピーし、新しいウィンドウ作成	 □ 図面(CADモード) ▶ 図 オプションテンプレート
I 現在のウィンドウ名称変更	△ III: 自動生成図面 ▲ III: 6000000000000000000000000000000000
	調 cDrawing1
	ウィンドウ 図面要素 プロパティ
	命令: CADモードウィンドウ名称
✓ 自動生成モード	<cdrawing1>: "cDrawing1" : *モード変更:現在モード(CADモード) ーーン:</cdrawing1>
オプションテンプレート	コマンF: メーマンF: Model Layoutt
3 挿入点を指定	Point 内部参照とは
※挿入点を指定時、初期値は 「 内部参照=なし」「図面枠=あり 」の設定になっています。	※自動生成モードにある図をCADモードに表示している状態です。 そのため、どのような修正も出来ません。 部は名の移動たどの修正をしたい場合は、自動生成モードに戻って行います。
・内部参照にする場合は、[内部参照=あり]を選択 ・図面枠を一緒に配置したくない場合は[図面枠=なし]を選択	注) 自動生成図をDWGファイルに書き出す場合は、挿入点を指定する前に [内部参照=なし]を選択してください。
← → 山 - ファイル(F) 編集(E) ビュー(V) 挿	■ ■ 山 山 泉 + + , das Denner, C-KlowerKladard-3780-staget-3780-374,2531750-staget-378888855557, Hogel1-51 + □ X →+409 単純の 山-ヤ 単んの 単化の シーマイロ name Table F200 シーマイマンの 単化の 医酸血化の A ボーマン 単んの 単化の 東京 「夏香香水が香菇は、夏季香香が香菇は、夏季香香が香菇は、夏季香香が
Item	全面電気の日川日本全体の空気が大き子 キャクテキュアを定め始め。 - 5012 - ** (Mananga Ki) - 186
 Image: Image: Image:	■ ENLOYE-+1) + 約 ポジンクシスクスレート × 8, 自然自然地 → 8, some
 ∠ 5.1 △ 5.1 ○ 5.1 <	
。 「」1:6階伏図 (ECAD図面 同同	B, 1: 19 493 B, 1: 19 493 B, 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0:
- cau	
ウィンドウ 図面要素 プロパティ 4 4	N1/2 DD4=1/2017281 DD4=01/309401 1004041/309401 1007401 1007401 1007401 1007401 1007401 1007401 100740 100
コマント: JNSERTVEWREGION コマンド: AITOARRANGEMENTSHEET 現在の認定: 内部発掘った川 図面換-本川	27/27. JARTITERANGAN. 277/27. JARTITERANGAN.
■ おはておなどに「おはない」であり、と言語(1+00) ■ 挿入点を指定 または【内部参照なし(■) 図面枠なし(■)(<0.0):	
	DEstaint Richt Richt Reich Richt R

Step5 リタッチ

eGenに情報のない敷地境界線や階段、その他図面に必要な情報をCAD機能を使って仕上げていきます。 詳しくはヘルプページ[F1キー]をご覧下さい。



※図面完成後には印刷や、dwg/dxfへの書き出しが可能です。

軸組図 自動生成-事前準備



軸組図自動生成-作業フロー





自動生成モード

Step1 生成する軸組図の軸を指定

eGenファイルを読込んだmdwgファイルを使い、軸組図を自動生成する方法を学習します。

Ċ Iten ■ ▲ ↓	 (ンドウ 回面(自動生成モード) ヨオプションテンプレート 回 伏軸図面オプションテン 回 Standard Drawing 1 回 副本がリストオフトョンテ 国 副教生成図面 国、CAD図面 □ □ 	↓ × ンプレート Template eGen JP		
		4 5		
21				
	-	 自動生成するス 	マタイルを設定した「 伏軸図面オプションテンプレート 」を指定します	
		※文字がオレンジ色になっ	っているテンプレートのスタイルを使用して自動生成します。	
		2	メニュー]>[図面生成]> 軸組図を生成]選択	
X	面生成(G) 図面更新(U)	ヘルプ(H)	3 軸組図を自動生成するため、 eGenファイルをDrawingデータに変換します。	
æ	eGenファイルを開く		※伏図・軸組図を生成するための情報をDrawingデータに変換しま	す。
S	eGen'情報を削除する			
	3D モデルに書き出し	•	eGen -> Drawing データ変換処理中。。。	
	構造図面生成マネージャー		全体 (15/37) 全体 (15/37)	
	部材リストテンプレートの編集	•	64%	10
	#*注ミルミレ 畑 声ナ ナ ー*		梁の交差部を処理します。	-
# #	保回を生成			
અંસ	·····································	•	The second secon	0:01
	部材则入下を生成	22		
×		 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		

データ変換が終了すると、軸組図生成のダイアログが表示されます。

 ・ 軸組図を生成 図面セット 構造標準図面 ・]		•					
	通り名称	切断位置	可視深さ	縮尺	図面枠	1		
▼ ×1軸組図	X1	-1.9	3.4	1:100	midas SHEET A3	1		
▼ ×2車曲組図	X2	-1.7	8.4	1:100	midas SHEET A3			
▼ X3車曲組図	×3	-1.7	3.4	1:100	midas SHEET A3			
▼ ×4車船1図	×4	-1.7	3.4	1:100	midas SHEET A3			
▼ ×5車曲組図	×5	-1.5	3.4	1:100	midas SHEET A3			
▼ Y1軸組図	Y1	-1.5	3.4	1:100	midas SHEET A3			
✓ Y2車組図	Y2	-1.5	3.4	1:100	midas SHEET A3			
▼ Y3軸組図	Y3	-1.9	3.4	1:100	midas SHEET A3			
構造図面生成マネージャー OK キャンセル								

💱 軸列断面図の生成

💁 文字の重なりを解消

2.3 軸組図を生成

自動生成モー

図を生成							×				
図面セット	構造標準図面			•							Ser.
×											
1	図面名	2 通り名称	3 切断位置	4 可視深さ	5 縮尺	6 図面枠					10-11
✔ X1軸組図		X1	-1.9	3.4	1:100	midas SHEET A3		6			TENE
✓ X2軸組図		X2	-1.7	3.4	1:100	midas SHEET A3			1		
✓ X3軸組図		×3	-1.7	3.4	1:100	midas SHEET A3				191	
✓ X4軸組図		×4	-1.7	3.4	1:100	midas SHEET A3					
✓ X5車船組図		×5	-1.5	3.4	1:100	midas SHEET A3					
✓ Y1 ✓ Y1 ■ ¥1 ●		Y1	-1.5	3.4	1:100	midas SHEET A3	_				
✓ Y2興時組図 ✓ Y3車船組図		Y2 Y3	-1.5	3.4 3.4	1:100	midas SHEET A3					
図面生成マネ	-74-			-		OK +v				7	
	21							⊚eG	-n>י⊮	J_X_7	->
								「グル-	-ピング	ノ ノニュ > [フレ-	-Á
圆面々								- クルービー - パルー	רי <i>ר</i> איי אי		7 ×
凶風石									/~L		
Gen7レー	しの情報を反	しています	•						Xāt		
ノーム名の	後にDrawin	ngにて「軸網	。 図」と自動で	付与されま	ます。				** X1		
動生成前	に上記ダイア	ログにて図面	名を変更す	ることも可能	能です。						
				0]].				-	** X3		
									*** X4		
通り名利	л								·∎ _{žž} X5 V≢t		
	J,								ĭ≢⊞ .55. ∨1		
Genからどの	ワフレーム情報	服を用いてい	るか確認でき	≢đ.					.38. ∨9		
				. 0. 20							
awingで	「変更出来」	ませんので、e	Genのフレ-	.。♪。 -厶編集 機	能で変更してく	<i>ごさい。</i>			•••• Y3		
awingで	「変更出来る	ませんので、6	Genの フレ-	- ム編集 機	能で変更してく	ださい。			₩ 12 ₩ Y3 XY <u>軸方向</u>		
awingで	「変更出来る	ませんので、e	Genの フレ-	- ム編集 機	能で変更してく	ぎさい。			··· ·································	7外	
rawingで 切断位	は変更出来る	ませんので、e	:Genの フレ-	- ム編集 機	能で変更してく	ださい。		PF1	12 11 11 11	13%	5.54
rawingで 切断位	ま変更出来る	ませんので、e	Genの フレ-	- ム編集 機	能で変更してく	ださい。	(Y3) ⁰⁴		¥¥¥ ¥ XY 軸方向	7分 04 04	1
rawingで 切断位 の位置で切	は変更出来。 置 1)断または断行	ませんので、e 面と捉えた部	Genのフレー	- ム編集 機	能で変更してく します。	ださい。	(Y3)	Ff1	111 72 111 Y3 XY 軸方向 F41		9 <u></u>
rawingで 切断位 の位置で切 の名称から	は変更出来。 置 別断または断行 別断面までの	ませんので、e 面と捉えた部 の位置をメート	Genの フレ- 材を切断線 ル単位で設	- ム編集 機 として生成 定します。	能で変更してく します。	ざい。	(73)	- 1	111 12 111 12 112 112 112 112 112		1 <u>F82</u>
awingで 切断位 の位置で切 の名称から awingの	す変更出来。 置 別断または断行 辺断面までの 基準値は一行	ませんので、e 面と捉えた部)位置をメート 番幅広の部材	Genの フレ- 材を切断線 小単位で設 才端部+1メ	として生成 定します。 ートルです。	能で変更してく; します。 。	だい。	(73)	PF1	111 12 112 1	75 04 	9 <u>Fiž</u> S1
rawingで 切断位 の位置で切 の名称から rawingの	す変更出来る 置 別断または断値 辺断面までの 基準値は一着	ませんので、 e 面と捉えた部 2位置をメート 番幅広の部材	Genの フレ- 材を切断線 小単位で設 才端部+1メ	さ ーム編集 機 として生成 定します。 ートルです。	能で変更してく; します。 。	だい。	(¥3)- +0	Ff1	112 112 112 112 112 112 112 112 112 112	755 155 155 155 155 155 155 155 155 155	1 <u>F62</u> 51
rawingで 切断位 の位置で切 の名称から rawingの	よ変更出来? 置 別断または断征 辺断面までの 基準値は一行	ませんので、e 面と捉えた部 小位置をメート 番幅広の部材	Genの フレ- 材を切断線 ル単位で設 オ端部+1メ	さ ーム編集 機 として生成 (定します。 ートルです。	能で変更してく; します。 。	だい。	(73)-		112 112 112 112 112 112 112 112 112 112	194 	3 <u>F62</u> S1 <u>B2</u>
rawingで 切断位 の位置で切 の名称からt rawingの 可視深る	よ変更出来る 置 1)断または断行 辺断面までの 基準値は一音	ませんので、e 面と捉えた部 D/位置をメート 番幅広の部材	Genの フレ- 材を切断線 ル単位で設 オ端部+1メ	として生成 注します。 ートルです。	能で変更してく; します。 。	だい。	(73)-		111 12 111 111	194	1 <u>Pitz</u> S1 B2
rawingで 切断位 の位置で切 の右間から rawingの 可視深で	は変更出来る 置)断または断征 切断面までの 基準値は一音 き ー いとしてがい	ませんので、6 面と捉えた部 の位置をメート 番幅広の部材	Genの フレー 材を切断線 ル単位で設 オ端部+1メ	として生成 定します。 ートルです。	能で変更してく; します。 。	だい。	(¥3)	F1	111 Y3 112 Y3 XY軸方向 Feil 81		1 <u>Pit</u> 51 51
rawingで 切断位 の位置で切 の名称から rawingの 可視深 Genでフレ- 断位置か	は変更出来る 置)断または断航 辺断面までの 基準値は一音 き ームとしてグル コマイナスカ市	ませんので、e 面と捉えた部 山位置をメート 番幅広の部材	Genの フレー 材を切断線 ル単位で設 オ端部+1メ た部材を生た	さして生成 たして生成 定します。 ートルです。 成します。	能で変更してく; します。 。	さい。		- FF1	111 Y3 XY轴方向 Feil 61		1 <u>F67</u> 51 <u>B2</u> 51
rawingで 切断位 の位置で切 の右で切 の名称から rawingの 可視深で Genでフレー 断位置か っマ視って	よ変更出来 置)断または断征 辺断面までの 基準値は一音 き - ムとしてグル らマイナス方に 基準値はグリ	ませんので、e 面と捉えた部 小位置をメート 番幅広の部材 ーピングされば 向へ範囲を設 レーピングされ	Genの フレ- 材を切断線 ル単位で設 オ端部+1メ たのあす。 た一番幅広	として生成 定します。 一トルです。 成します。	能で変更してく; します。 。 ^{業部+1mです。}	さい。			111 Y2 112 Y2 FRI 61 61		1 F62 51 82 51
rawingで 切断位i の位置で切 の右面で切 名称からi rawingの 可視深で らられてフレー で るのでフレー で るのでフレー で の で の で の で の の で の の の の の の の の の	は変更出来る 置 膨または断 の の 断またには 断 の の 断またには 断 の の 断またに は の の 断また に い の の い に い の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ませんので、e 面と捉えた部 小位置をメート 番幅広の部材 ハーピングされば レーピングされば リーピングされば	Genの フレー 材を切断線 ル単位で設 オ端部+1メ た部材を生た 定します幅広さ れた部材が	として生成 定します。 の部材の対 すべて会まれ	能で変更してく; します。 。 端部+1mです。 りるよう、	さい。			111 Y3 112 Y3 XY 軸方向 113 Y3 114 Y		1 F2 51 82 51 82 51 82
rawingで 切断位i の位置で切 る称からi rawingの るenでフレ・ 断位置か rawingの るen上でフ awingが	よ変更出来る 置 勝または断征 辺断面までの 基準値は一着 たくしてグル らマイナス方に 基準値はグ川 レームとしてグ 自動で位置	ませんので、6 面と捉えた部 小位置をメート 番幅広の部材 ーピングされば うへ範辺がされ ブルーピングされ ジレーピングさいます	Genの フレー 材を切断線 ル単位で設 オ端部+1メ た部材を生た たこ一番幅広 たれた部材がで す。	はして生成 たして生成 定します。 ートルです。 成します。 の部材の強 すべて含まれ	能で変更してく; します。 。 端部+1mです。 れるよう、	さい。			111 Y3 111 Y3 XY 軸方向 111		3 <u>P52</u> 51 52 51 62
awingで 切断位 の位置で切 名称から awingの 可視深 Genでフレ- 断位置か awingの Gen上でフ awingが	よ変更出来 こので、 こので、 こので、 こので、 こので、 こので、 こので、 こので、	ませんので、e 面と捉えた部 小位置をメート 番幅広の部材 ーピングされ説 うへ範囲を設 レーピングされ を決めています	Genの フレー 材を切断線 ル単位で設 オ端部+1メ た部材を生た たこの番幅広 たた部材が す。	はして生成 たして生成 に定します。 ートルです。 成します。 の部材の強 すべて含まれ	能で変更してく; します。 。 総部+1mです。 れるよう、	さい。			Y3 XY軸方向 61 81 81		3 <u>P52</u> S1 B2 S1 S1 B2 S1 S1
awingで 切断位 の位置で切 名称から 名称から awingの 。 可視深 。 Genでフレ- 断位置か awingの Sen上でフ awingが	よ変更出来: 置 膨または断桁 辺断面までの 基準値は一計 を ームとしてグル らマイナス方に 基準の値はグリ レームとしてグ 自動で位置な	ませんので、e 面と捉えた部 が位置をメート 番幅広の部材 ハーピングされ、 ブルーピングされ、 ブルーピングされ、 ジルーピングされ、 で、e	Genの フレー 材を切断線 ル単位で設 が端部+1メ た部材を生た た一番幅広 たた部材が す。	として生成 定します。 ートルです。 成します。 の部材の強 すべて含まれ	能で変更してく; します。 。 ^{約部+1} mです。 れるよう、	さい。			111 Y3 XY軸方向 61 81 81		3 <u>P52</u> S1 S1 S2 S1 S1 S1
awingで 切断位 の位置で切 名称から awingの 可視深。 Senでフレ- 断位置か awingの Sen上でフ rawingが	よ変更出来る 置))断または断征 切断面までの 基準値は一音 さ ームとしてグル らマイナス方に 基準値はグル レームとしてぐ 自動で位置を	ませんので、e 面と捉えた部)位置をメート 番幅広の部材 ハーピングされ、 ブルーピングされ、 ブルーピングされ、 ブルーピングされ、 で、e	Genの フレー 材を切断線 ル単位で設 水端部+1メ に部材を生た た一番幅広 た。 た。 た。 た。 た。 の す。	として生成 定します。 ートルです。 成します。	能で変更してく; します。 。 ^{約部+1mです。} れるよう、	さい。		ff1	Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y		1 <u>P52</u> S1 S2 S1 <u>B2</u> S1
awingで 切断位 の位置で切 の名称から awingの 可視深。 Senでフレ- の の るいでフレ- の の で の の の の の の の の の の の の の の の の	よ変更出来る 置 川断または断抗 切断面までの 基準値は一音 を ームとしてグル らマイナス方に 基準値はグル レームとしてぐ 自動で位置を	ませんので、e 面と捉えた部 の位置をメート 番幅広の部材 ーピングされ うへ範囲を設 レーピングされ ブルーピングされ	Genのフレー 材を切断線 小単位で設 す端部+1メ た部材を生た た一番幅広れ た。	として生成 定します。 ートルです。 或します。	能で変更してく; します。 。 ^{総部+1} mです。 れるよう、	さい。			Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y2 Y		1 <u>PE2</u> S1 S1 B2 S1 62 S1 64
awingで 切断位 の位置で切 の名称から awingの るのでフレ- の視深。 るenでフレ- る断位置か るen上でフ っ awingが るen上でフ るwingが	よ変更出来。 置))断または断征 切断面またのの 基準値は一音 さ ームとしてグル らマイナス方に レームとしてな の してな 自動で位置な	ませんので、e 面と捉えた部)位置をメート 番幅広の部科 ーピングされ、 うへ範囲を設 レーピングされ、 ブルーピングされ、 ブルーピングされ、 ・ ます	Genの フレー 材を切断線 ル単位で設 対端部+1メ たこの材を生た。 た一番幅広れ た。 す。	として生成 定します。 での部材の強	能で変更してく; します。 。 ^{湍部+1mです。} れるよう、	だい。			111 12 121 Y3 XY 軸方向 111 F11 111 F		1 F82 51 82 51 82 51 82 51 64 F64
awingで 切断位i の位置で切 の名称からf rawingの 可視深 Genでフレ- の構成 るenでフレ- ないの るをのでフレ- ないの るをので る。 ないの の る。 の で の の の の の の の の の の の の の の の の の	よ変更出来 こでの で 自動生成 に の た は の た は の で の た は の で の し で の し で の し で の し で の し で の し で の し で の し で の し で の し で の し で の し で の し で の し で の し で の し て の し て の し て の し し て の た し て の た し て の た し て の た し て の た し て の た し て の た し て の た し て の た し て の た し て の た し て ろ て う た し て の た し て の た し て ろ て う た し て ろ て う た し て ろ て う た し て ろ て う た し て ろ て う の た し て ろ て ろ て う し て ろ つ ち つ ち つ ち つ ち つ ち つ ち つ う し て う つ ち つ ち つ ち つ ち つ ち つ ち つ ち つ ち つ ち つ ち つ ち つ ち つ ち つ ち こ し て う つ ち ち ち う	ませんので、e 面と捉えた部 加位置をメート 番幅広の部材 ービングされ設 レービングされ シレービングされ シレービングされ シレービングされ シレービングされ シレービングされ シレービングされ シレービングされ シレービングされ シーレビングされ シーレビングされ シート	Genの フレー 材を切断線 ル単位で設 対端部+1メ た部材を生た。 た一部材が たこの材を生ま。 たこの材をます	として生成 定します。 たします。 の部材の或 すべて含まれ	能で変更してく; します。 。 端部+1mです。 れるよう、	だい。			111 12 112 1		1 F87 51 52 51 6 F94
rawingで 切断位i の位置で切 の名称からf rawingの 可視深 Genでフレ- の構成 Genでフレ- ない ない の るの 都尺 記 の の 、 パ に の の の の の の の の の の の の の の の の の の	よ変更出来 ま 変更出来 置))断または断征 辺断面までの 基準値は一音 本 ムとしてグル らマイナス方下 レームとしてグル らマイナス方下 しのひなど、 追 の の の の の の の の の して の の の の の の の の の の の の の	ませんので、e 面と捉えた部 加位置をメート 番幅広の部材 ービングされ設 レービングされます。 システス法も選打 ロスでとも可	Genの フレー 材を切断線 ル単位で設 が端部+1メ た部材を生 <u>た</u> た一番幅が たた部材が す。	として生成 定します。 ートルです。 成します。	能で変更してく; します。 。 ^{総部+1mです。} れるよう、	だい。			111 12 112 1		1 F67 51 52 51 6 F64 51
awingで 切断位i の位置で切 の右で切 の名称からi awingの るenでフレ- の で の るenでフレ- るい で の の 名称からi awingの る の を の で の う 名称から で る の の で 切 り の て 切 り の て 切 り の て 切 り の て 切 り の て 切 り つ 名 て 切 り つ 名 で 切 り つ 名 で 切 り つ 名 で 切 り つ 名 で 切 り つ 名 で 切 り つ 名 で 切 り つ 名 で 切 り つ 名 で 切 り つ 名 で 切 り つ 名 で 切 う ろ の う ろ う う ろ う う う う ろ う ろ う う う ろ う う う う ろ う う う う ろ う う う ろ う う う ろ ろ う う う ろ ろ う う う う ろ ろ つ う う う う	よ変更出来 ま 変更出来 置))断または断桁 の町または断桁 の町または町 の町またな町 の町またな町 のして の町またない の町 してづい ら マイナス方下 同 して してづい ら マイナス方下 同 し して ので の し こ ので の ま た の の で の ま た の の に し で の に し で の に し で の に し で の に し で の に し て の に し て の に し て の に し て の に し て の に し て の に し て の に し て の に し て の で し て の で し て の で し て の で し て の で し て の で し で の に し て の に し て の で し で の こ の ち の こ の で の こ の の の こ の の の の の の の の の で し で の こ の で の つ の の の の の の の の の の の の の	ませんので、e 面と捉えた部 加位置をメート 番幅広の部材 ーピングされ、が 向へ範囲を設 レーピングされ、が し、ので、e	Genの フレー 材を切断線 ル単位で設 オ端部+1メ た部材を生た。 た一番幅材が たこの者幅広が す。 Rできます。 能です。	として生成 定します。 一トルです。 成します。 の部材の站	能で変更してく; します。 。 端部+1mです。 れるよう、	だい。			111 12 112 1		1 <u>F67</u> 51 82 51 82 51 84 F64 51
rawingで 切断位 の位置で切 の名称から rawingの 可視深 るenでフレ- 断位置か るenでフレ- 部が位置か るenでフレ- 都納度の るen上でフ rawingが 意の縮尺 100、1/ゴ 尺リストに	よ変更出来 こでの または の 断または の 断または の 断または の 断 の し の し の し の し の に し の が に し の が に し の が い し に の い い し に の い い し に の い い し に の い い し に の い い し に の い い し い し い い い し い し い い い し い い い し い い い い い し い い い い い い い い い い い い い	ませんので、e 面と捉えた部 泊位置をメート 番幅広の部材 ノーピングされば 高へ範囲を設 レーピングされば シーピングされば シーピングされば 「しつで、e	Genの フレー 材を切断線 ルル単位で設 オ端部+1メ た部材を生た たこします。 たた部材が す。 Rできます。 (能です。	として生成 定します。 一人編集機 たして生成 で定します。 の部材の弱 すべて含まれ	能で変更してく; します。 。 端部+1mです。 れるよう、	だい。			111 12 112 Y3 112 Y		1 <u>F94</u> 51 82 82 81 82 81 82 81 82 81 82 81 82 81 82 81 82 81 82 81 82 81 82 81 82 81 82 81 82 81 82 81 82 81 82 81 81 82 81 82 81 82 81 82 81 81 82 81 81 81 82 81 81 81 81 81 81 81 81 81 81
awingで 切断位 の位置で切 の位置で切 の在置で切 名称から awingの で 可視深 Genでフレ- の断位置か awingの Sen上でフ rawingが 縮尺 意の縮尺 100、1/1 尺リスト こ	よ変更出来 ま 変更出来 置 間断または断征 の断面までの 基準値は一計 本 - ムとしてグル らマイナス方応 基本 このなどの しのなど、表述 て縮尺を追か	ませんので、e 面と捉えた部 小位置をメート 番幅広の部材 ーピングされば うへ範囲を設 レーピングされば うへ、範囲である し、しています し、ます。。 示方法も選打 口することも可	Genの フレー 材を切断線 ル単位で設 オポポ部+1メ た記して番幅広た たた部材が す。 Rできます。 (能です。	として生成 定します。 成します。 の部材の弱 すべて含まれ	能で変更してく; します。 。 端部+1mです。 れるよう、	だい。			111 12 121 Y3 XY 軸方店 51 51 51 51 51 51 51 51 51 51		1 P62 51 82 51 82 51 92 51 12 P102
rawingで 切断位 の位置で切 の右で切 の名称から awingの Genでフレ- の断位置か awingの Gen上でフ rawingが 篇の縮尺 100、1/ゴ 尺リストに 図面枠	よ変更出来。 電 調断または断征 切断すたは断征 切断すたは断征 切断すたはでの 事 ームとしてグル らマイナス方に 基 レームとしてグ して う な して の な に の に で の し の して う に して う に の い に の い に の い に の い に の い の い た い て の の い た い て の の い た い て の の た い て の の い た い て の い し の い た い て の の い た い こ の の で の に の い た い て の い し い こ の い の い い い い い い い い い い い い い	ませんので、e 面と捉えた部 泊位置をメート 番幅広の部材 ノーピングされ説 レーピングされ説 レービングされ説 レービングされ説 ロービングされ説 「 いっています します。 、 選択 同することも可	Genの フレー 材を切断線 ル単位で設 オポポ部+1メ た部材を生た。 たれた部材がす たた一番味材がす す。 Rできます。 能です。	として生成 定します。 ートルです。 成します。 すべて含まれ	能で変更してく; します。 。 総部+1mです。 れるよう、	だい。			F11 Y2 Y2 Y3 Y4 H5/6 F1 - S1 -		1 PE2 51 E2 51 E2 51 62 51 51 62 51 62 51 51 62 51 51 62 51 51 62 51 51 51 62 51 51 51 51 51 51 51 51 51 51
awingで 切断位 の位置で切り 名称から awingの う可視深。 Senでフレ- の なの称にて る の な に て り 名称から る る の で 切 と て 切 り 名称から る る の で の し 名称から る る の で の し 名称から ら こ る の から で 切 り 名称から る で の う 名称から る で の う 名称から る で の う 名称から る で の う 名称から る で の う 名称から る で の う 名称から る で の う 名称から る で の う 名称から る で の う 名称から る で の う ろ の の の こ の の う の の の の の の の の の の の の の	よ変更出来。 置 ごの の の の または の の が 馬 た に の で の し の し て が の に し て の に し て の に し に の に い に の で の に し に の の に の に の の に の の に の の に の の に の の し に の の い い い 断 面 は の 一 い う に の の い い い い い い い い い い い い い	ませんので、e 面と捉えた部 加位置をメート 番幅広の部 パーピングされ設 レーピングされ設 レーピングされ 読 し、 で、e	Genの フレー 材を切断線 初端部+1メ た部材を生た たたま番幅材が す。 Rできます。 たたです。	名(上の) 一ム編集機 として生成。 このです。 成します。 のの時本です。 のですべて含まれ	能で変更してく; します。 。 ^{総部+1mです。} れるよう、	さい。			F01 - F01 - 51 -		 PE2 S1 B2 S1 62 S1 62 S1 12 P62
awingで 切断位 の位称から awingの 可視深。 Genでフレー Senでフレー ないの の マールで の ない の ない の ない の の 名称から で る ら の で 切 の て の し 名称から の こ る の 断 の に の の の の の の の の の の の の の の の の	は 変更 田来 置 調斯またはまでの 調斯またはまでの 一 ムとしてグル 「 う 基 ー ムとしてグル で の し の 都 で の し て の で の し て の に また し て の に また し て の に し て の に し て の に し て の に し て の に し て の に し て の に し て の に し た し て の に し て の に し で の に し で の に し に の に し に の の に し に の に し に の の に し て の の に し た し て の の に た こ た し て の の に の に の に し た し て の に の こ 、 た こ こ の に の に の に の こ の こ し こ の に の に の こ 、 こ し の こ 、 こ し の こ 、 こ し の こ の こ し こ の こ し の の こ し の こ し の こ し の こ し の し の の こ し の し の こ し の こ の こ し の し の こ し の こ し の こ し の こ の こ し の こ の こ し の こ し の こ の こ し の こ の こ の こ の こ の こ の こ の こ の こ の の の こ の こ の の こ の の こ の の の の つ の の の の の の の の の の の の の	ませんので、e 面と捉えた部 加位置をメート 都幅広の部 パーピングされ設 にのので、e こので、e のない、 で、e のない、 で、e ので、e	Genの フレー 材を切断線設 が端部+1メ たたこをしていた。 たたたます。 たたです。	20-ム編集機 として生成。 一トルです。 成します。 の部すって含まれ	能で変更してく; します。 。 ^{総部+1mです。} れるよう、	さい。			Fill Yi Yi Yi Yi Yi Si Si Si Si Si Si Si Si Si		Pitz Pitz S1 B2 S1 B2 S1 B2 S1 B2 S1 B2 S1 S1 B2 S1 S1 S1 P101
awingで 切断位 の位称から awingの るemでフレー るemでフレー るemでフレー るemでフレー ないの る の の の の の の の の の の の の の の の の の の	よ 変更 田来	ませんので、e 面と捉えた部 加工でで、e 面と捉えた部 小位置をメート 番幅広の部 パーピングされ設 レーピングされ設 レーピングされ設 し、一でので、e	Genの フレー 材を切断線設 が端部+1メ た部材を生た。 たたこのはま番幅がない。 たたです。 に能です。	3.4 - ム編集機 として生成。 注定します。 つします。 ですべて含まれ	能で変更してく; します。 。 ^{約8+1mです。} れるよう、	さい。			Fill 12 Yi Y3 XY 軸方向 61 61 61 81 61 81 61 81 61 81 61 81 61 81 61 81 61 81 61 93 741 741 711		Image: Page of the second se
awingで 切断位i の位称から awingの 可視深。 Genで切り る断位面の Gemでフレー ないの ないの る の で 切り 名 本 い ち の の 名 の の で 切り ろ の の の の の の の の の の の の の の の の の の	よ 変更 田来	ませんので、e 面と捉えた部 加位置をメート 番幅広の部材 ノービングされ設 レービングされ設 レービングされ設 レービングされ設 レービングされ設 レービングされ設 します。。 読 することも可 題欄を意識し されます。	Genの フレー 材を切断線 辺が端部+1メ た部材を生。 たたこのはまです。 Rできます。 作能です。	3.4 - ム編集機 として生成。 につします。 ですべて含まれ 領域と	能で変更してく; します。 。 ^{総部+1mです。} れるよう、	さい。			st st st st st st st st		Image: Part of the second se
awingで 切断位 の位称から awingの るemでフレー るemでフレー るemでフレー るemでフレー るemでフレー るemでフレー るemでフレー るemでフレー るemでフレー るemでフレー るemでフレー るemでフレー るemでの るemの るemでの るemでの るemの るemでの るemの るemでの るemの るemの るemの るemの るemの るemの るemの るem	は 変更 田来: 置))断または断征 辺 単本 位 は 一 ムとしてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としてグル ら マイナー値としての に し の な で の ま た ま の の な た に む の な た し た の な た の こ の の た し で の か で の っ た し で の か で の か で の か で の っ た の た の こ の の た の こ の の た の こ の の の た の こ の の の た の こ の の の の の し の の の の の の の の の の の の の	ませんので、e 面と捉えた部 加位置をメート 番幅広の部材 ーピングされ、 がの一ピングされ、 がの一ピングされ、 がの一ピングされ、 がの一ピングされ、 で、 の で、 の の で、 e の の で、 e の の で、 e の の で、 e の の で、 e の の で、 の で い の で の の の れ して の つ の い して の う の して い の で の の の れ い し の の の の の の の の の の の の の	Genの フレー 材を切断線 が単位で設 が た 部材を生 た た た た た た た た ま す。	3-ム編集機 として生成にます。 一一しします。 成します。のすべて含まれ	能で変更してく; します。 。 端部+1mです。 れるよう、	だい。			Fill Fill Fill Fill Fill Fill Sil Fill Fill Fill		Image: Part of the second se
awingで 切断位 の位称からの awingの 可視で切られていた。 Genでしたの awingの Genでしたの awingの 高いしてフレー ながいの、1/ゴ Rリストに 図面本指式 が の 和代す イズが	は 変更 田来: 置)) () () () () () () () () () () () ()	ませんので、e 面と捉えた部 加位置をメート 番幅広の部材 ーピングされば あっ、範囲ので、e して、ので、e ので、e ので、e ので、e ので、e ので、e ので、e ので、e ので、e ので、e ので、e ので、e	Genの フレー 材を切断線 リル単位で設 い た 部材を生 た た た た を ま す。 た 作 図 可 能 た 作 の 可 の の フレー	3.4 - ム編集機 として生成 に定します。 一トルです。 成します。 の部すべて含まれ 領域と	能で変更してく; します。 。 端部+1mです。 れるよう、	だい。			Fill - Feil - fill -		1 S1 S1 S1 S1 S1 S1 S1 S1 S1 S1

Step2 自動生成モードに配置





※配置したい作業空間内の位置をクリックまたは、座標を入力。 何もせずに「Enter」を押すと、0,0に配置されます。





※用紙の間隔を空けたい場合は、 マウスを右へスライドさせて左クリックすると、 スライドさせた距離分が、用紙の空き間隔となります。

自動生成モード

例:縮尺を1:75、用紙サイズをA3で生成



自動生成モード

Step3 レイアウト調整

レイアウト調整とは、**作図領域に自動生成**した図が収まるように寸法やバブルの位置を修正したり、重なったり不要な文字や寸法を 移動させたり非表示設定にして、見やすい図にすることです。詳しい調整の仕方は、「基本操作編-レイアウト」をご覧下さい。 そして、この調整をしておくと、調整したものをテンプレートとして指定し、2つ目以降の変更eGenモデルで生成したものは同じ調整が 不要になります。



Step4 CADモードに配置

自動生成モード > CADモード

自動生成した図をCADモードに配置することにより、図面枠を配置し、CAD機能を使用して自由に追記し、印刷することが可能です。 また、内部参照を使用することで、今後設計変更した場合、設計変更eGenモデルで自動生成したものへ簡単に更新できます。 (自動生成図面の更新)

自動生成モードからCADモードへ切り替え	2 自動生成した図をCADモードに配置
※[メニュー]>[ウィンドウ]>[CADモード]	※配置したい自動生成図をドラッグ&ドロップ。 複数の図面を同時に配置することも可能です。 その場合の配置位置は、自動生成モードの 配置間隔が適用されます。
ウィンドウ(W) 情報(A) 図面生成(G) □ ウィンドウ新規作成(N) □ 現在のウィンドウをもとに新し、・ウィンドウ作成 □ 現在のウィンドウをもとに新し、・ウィンドウ作成 □ 現在のウィンドウをコピーし、新し(いウィンドウ作成 □ 現在のウィンドウをわめ変更 □ ウィンドウユーティリティ □ 東都て表示 □ 上下に並べて表示 □ 左右に並べて表示 □ た右に並べて表示 □ 日動生成モード オブションテンプレート	
3 挿入点を指定 ※挿入点を指定時、初期値は 「内部参照=なし」「図面枠=あり」の設定になっています。 ・内部参照にする場合は、[内部参照=あり]を選択 ・図面枠を一緒に配置したくない場合は[図面枠=なし]を選択	Point 内部参照とは ※自動生成モードにある図をCADモードに表示している状態です。 そのため、どのような修正も出来ません。 部材名の移動などの修正をしたい場合は、自動生成モードに戻って行います。 注) 自動生成図をDWGファイルに書き出す場合は、挿入点を指定する前に [内部参照=なし]を選択してください。
ファイル(F) 編集(E) ビュー(V) 持 ウィンドウ ゆ × Item 図面(CADモード) 回 オブションテンプレート 4 4 唱。自動生成図面 4 唱。自動生成図面 4 唱。自動生成図面 5 回 スンテンプレート 4 唱。CAD図面 5 回 スンドン 5 回 スンドン 7 NSERTVEWREGION マンド: INSERTVEWREGION マンド: INSERTVEWREGION マンド: INSERTVEWREGION マンド: INTABPAMCE-MENTSHEET 現在の設定: 内部参照っれし、図荷参照の切()	Normal State A
図面枠なし(_)]<0,0>:	

Step5 リタッチ

eGenに情報のない敷地境界線や階段、その他図面に必要な情報をCAD機能を使って仕上げていきます。 詳しくはヘルプページ[F1キー]をご覧下さい。



※図面完成後には印刷や、dwg/dxfへの書き出しが可能です。

断面図 自動生成-事前準備



断面図自動生成-作業フロー





自動生成モード Step1 断面図生成のための切断位置を指定 断面図は、自動生成した伏図を用いて生成するため、先に「伏図の生成」をご覧下さい。 図面生成**(G)** 泵 eGenファイルを開く コマンドウィンドウ: メニュー : [図面生成]> 2 [軸組図・断面図を生成]> 「断面図の名称」を入力 [構造断面図を生成] 構造設計做要 i III ※断面図の名称を入力します。 22 伏図を生成 この時「〇-〇'断面図」のように、 半角のハイフンとダッシュが必要です。 軸組図・断面図を生成 ▶ 💕 軸組図を生成 例) a-a'断面図、Y1-Y1' など 部材リストを生成 🔶 構造断面図を生成 GENSTRUCTRAL 6 軸列断面図の生成 ■ 物量算出書を生成 ■断面図の名称<A-A′断面図>: |Y2-🛄 文字の重なりを解消 自動生成した伏図から切断位置と切断範囲を指定 3 ※一般階伏図と基礎伏図から生成出来ます。縮尺と図面枠は生成に使用した伏図と同様のものを使用します。 ※生成モデルは、[eGenファイルを開く]>eGenファイルマネージャーの「作図」にチェックが入っているeGenファイルです。 ※切断位置はクランクさせたり、斜めにするなど自由に設定出来ます。 切断範囲点 (終点) 5 コファイル No. 771148 日付 記号 nea 1-CAL Open -2019/6/29-15:2 2 4 次の点+ 切断範囲点20周期 (終点) の発行の発行 の発行の発行 ※「作図」にチェックが入っている Enter 開始点 次の点 eGenファイルを使用して作成します。 -キャンセル ▲切断位置 欠の点+ Enter 例)3階伏図 1:100 MA Maran Manual \boxtimes MA NAMAN MANA $\boxtimes \mathbb{N}$ ×8-88 8×88 8 Y2-Y2' 断面図 711 mh ۰Ш • 縮尺: 1:100 ※②で入力した名称が反映され、 ③で使用した伏図と、同様の縮尺と 図面枠で生成されます。

構造断面図

※断面図は、切断位置と切断範囲を指定して自動生成するため、切る位置や方向によって生成される図が異なります。





W2OA



※切断位置でオブジェクトを切断していない 場合は、切断範囲に入っている部材のみ 生成されます。



※切断位置で切られたオブジェクトの断面と、 切断範囲に入っている部材が生成されます。



※A-A′断面と同じ外面の断面図ですが、 切断位置で切断されているオブジェクトがあ るため、切断された断面と、切断範囲に入っ ている部材が生成されます。

Step2 CADモードに配置





挿入起点を指定

※配置したい作業空間内の位置をクリック または座標を入力。 何もせずに「Enter」を押すと、0,0に配置されます。




Step3 レイアウト調整

レイアウト調整とは、作図領域に自動生成した図が収まるように寸法やバブルの位置を修正したり、重なったり不要な文字や寸法を 移動させたり非表示設定にして、見やすい図にすることです。詳しい調整の仕方は、「基本操作編-レイアウト」をご覧下さい。 そして、この調整をしておくと、調整したものをテンプレートとして指定し、2つ目以降の変更eGenモデルで生成したものは同じ調整が 不要になります。



Y2-Y2 前面図

\square

Step4 CADモードに配置

自動生成モード > CADモード

自動生成した図をCADモードに配置することにより、図面枠を配置し、CAD機能を使用して自由に追記し、印刷することが可能です。 また、内部参照を使用することで、今後設計変更した場合、設計変更eGenモデルで自動生成したものへ簡単に更新できます。 (自動生成図面の更新)



Step5 リタッチ

eGenに情報のない敷地境界線や階段、その他図面に必要な情報をCAD機能を使って仕上げていきます。 詳しくはヘルプページ[F1キー]をご覧下さい。



※図面完成後には印刷や、dwg/dxfへの書き出しが可能です。

部材リスト 自動生成-事前準備



部材リスト自動生成-作業フロー





Step1 部材リストの種類を指定

 3D モデルに書き出し

 構造図面生成マネージャー

 部材リストテンプレートの編集

➡ 構造設計概要を生成 ●\\ (大図を生成 _____)

 軸組図・断面図を生成

 調整
 部材リストを生成

 物量算出書を生成

 の、の字の重なりを解消

eGenファイルを読込んだmdwgファイルを使い、部材リストを自動生成する方法を学習します。

ウィンドウ キ ×					
Item					
🎟 図面(自動生成モード)					
▶ 回 伏軸図面オブションテンブレート					
▲					
Standard List Template					
ウィンドウプロパティ 🛛 🗸 🕨					
	を設定した「 部材リス	、トオプショ	ンテンプレート」を指定	主します	
ツナウボナリンジタにわって	いスニンプレートのフク	ノリも甘に	白動生亡します		
※又子がオレノン巴になりい	いるナノノレートの人う	コルを至し	日勤生成しまり。		
	2	生成した	ー・リリフトを選択		
		土瓜の			
		⋽ ╼ ╼┸ 			
	×2	国の種類	、稲尺、図面枠を決	正しまり。	
図面生成(G) 図面更新(U) ヘルプ(H)	部材リストを生成				
Seenファイルを聞く	RC Steel				
	NO OTECT	彼日	部はおしてものつわくい	(v) des the	
🖅 🚠 eGen情報を削除する		Tiel/尺			

図面の種類	縮尺	部材リストのスタイル	図面枠
✓ 柱 リスト	1:60	柱リスト STYLE 01	midas SHEET A3 Li:
🔽 大梁 リスト	1:60	大梁リストSTYLE01	midas SHEET A3 Li
🔽 小梁 リスト	1:60	小梁リストSTYLE01	midas SHEET A3 Li
🔽 地中梁 リスト	1:60	地中梁リスト STYLE01	midas SHEET A3 Li
🔽 壁 リスト	1:60	壁リスト STYLE 01	midas SHEET A3 Li
🔽 スラブ リスト	1:60	スラブリストSTYLE01	midas SHEET A3 Li
🔽 ブレース リスト	1:60	ブレースリスト STYLE01	midas SHEET A3 Li
🔽 独立基礎 リスト	1:60	独立基礎リストSTYLE01	midas SHEET A3 Li
✓ 布基礎 リスト	1:60	布基礎リストSTYLE01	midas SHEET A3 Li
✓ べた基礎 リスト	1:60	べた基礎リストSTYLE01	midas SHEET A3 Li
🔽 杭基礎 リスト	1:60	杭基礎リストSTYLE01	midas SHEET A3 Li
🔽 現場打ち杭 リスト	1:60	現場打ち杭リストSTYLE01	midas SHEET A3 Li
🔽 既製杭 リスト	1:60	既成杭リストSTYLE01	midas SHEET A3 Li:
🔽 鋼管杭 リスト	1:60	鋼管杭リストSTYLE01	midas SHEET A3 Li

部材リストは、eGenの配筋情報を用いて自動生成します。

◎メニュー> [図面生成]> [部材リストを生成]

図面の種類	縮尺	7	部材リストのスタイル	図面枠
🔽 柱 リスト	1:60	_	柱リスト STYLE 01	midas SHEET A3 List
🔽 大梁 リスト	1:60		大梁リストSTYLE01	midas SHEET A3 List
🔽 小梁 リスト	1:60		小梁リストSTYLE01	midas SHEET A3 List
🔽 地中梁 リスト	1:60		地中梁リスト STYLE01	midas SHEET A3 List
🔽 壁 リスト	1:60		壁リスト STYLE 01	midas SHEET A3 List
🔽 スラブ リスト	1:60		スラブリストSTYLE01	midas SHEET A3 List
🔽 ブレース リスト	1:60		ブレースリスト STYLE01	midas SHEET A3 List
✓ 独立基礎 リスト	1:60		独立基礎リストSTYLE01	midas SHEET A3 List
✓ 布基礎 リスト	1:60		布基礎リストSTYLE01	midas SHEET A3 List
✓ べた基礎 リスト	1:60		べた基礎リストSTYLE01	midas SHEET A3 List
✓ 杭基礎 リスト	1:60		杭基礎リストSTYLE01	midas SHEET A3 List
🗸 現場打ち杭 リスト	1:60		現場打ち杭リストSTYLE01	midas SHEET AS Lint
✓ 既製杭 リスト	1:60		既成杭リストSTYLE01	midas SH FOI
🔽 鋼管杭 リスト	1:60		鋼管杭リストSTYLE01	midar 🗧 🚺
				選拔

RC/Steel

※RC/Steelと部材種類に分けて自動生成します。

図面の種類

※部材ごとに図面を作成します。 eGen情報が入っている部材のみ生成することが可能です。

6 縮尺

※任意の縮尺で自動生成します。 1:20、1/20など、表示方法も選択できます。 縮尺リストにて縮尺を追加することも可能です。

部材リストのスタイル

※STYLE01は断面形式、STYLE02は表形式で 自動生成されます。詳しくは右記表をご覧下さい。

8 図面枠

※図面枠を指定すると、表題欄を意識した作図可能領 域に収まるようにリストが配置されます。

断面形式(例)

■ 鉄骨柱 リスト



5 図面の種類 6	縮尺 7	部材リストのスタイル	図面枠
☑ 鉄骨柱 リスト	1:40	鉄骨 柱リスト STYLE 01	midas SHEET A3 List
✓ 鉄骨梁 リスト	1:40	鉄骨 梁リスト STYLE 01	midas SHEET A3 List
🔽 鉄骨小梁 リスト	1:40	鉄骨 小梁リスト STYLE 01	midas SHEET A3 List
🔽 鉄骨ブレース リスト	1:40	鉄骨 ブレースリスト STYLE 01	midas SHEET A3 List
🔽 デッキスラブ リスト	1:40	デッキスラブリストSTYLE01	midas SHEET A3 List
🔽 維手部 リスト	1:40	梁維手リストSTYLE01	midas SHEET A3 List
🔽 露出柱脚 リスト	1:40	露出柱脚リストSTYLE01	midas SHEET A3 List
			9 [Ok 選択
すべて選択/解除	構造図記	面生成マネージャー	OK キャンセル

部材リストの スタイル	RC	S
柱	断面形式	断面形式/表形式
大梁	断面形式	断面形式/表形式
小梁	断面形式	断面形式/表形式
地中梁	断面形式	
壁	断面形式	
スラブ	表形式(凡例有/無)	_
ブレース	断面形式	断面形式/表形式
独立基礎	断面形式	-
布基礎	断面形式	
ベタ基礎	表形式	—
杭基礎	断面形式	
現場打ち杭	断面形式	
既製杭	表形式	-
鋼管杭	表形式	-
デッキスラブ		表形式
継手部	_	表形式
露出柱脚	_	表形式

表形式(例)

■ 鉄骨柱 リスト

符	号	SC1	SC2
0E	部材	□-550x550x22/77	□-550x550x22/77
25	材質	STKR490	STKR490
15	部材	□-550x550x22/77	□-550x550x22/77
16	材質	STKR490	STKR490



Step2 自動生成モードに配置



Step3 CADモードに配置

自動生成した図をCADモードに配置すると同時に図面枠も配置します。 CAD機能を使用して自由にレイアウト調整や追記、印刷することが可能です。



※挿入点を指定時、初期値は「図面枠=あり」となっています。 図面枠を一緒に配置したくない場合は「図面枠=なし」を選択してください。 ※断面リストは伏軸図面のような内部参照の設定はありません。

←→・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
ウィンドウ J	ŗ	
Item		
■ 図面(CADモード)		
▶ 目 オプションテンプレート		
⊿ 團。自動生成図面		
▲ ■ RC-3Dモデル-変更前		
團, 1: 地中梁 リスト		
🔺 🖫 CAD図面 🛛 🔲 🛅		
團 cDrawing1		
ウィンドウ 図面要素 プロパティ	4	Þ
コマンド: _INSERTVIEWREGION コマンド: _AUTOARRANGEMENTSHEET		
現在の設定: 図面枠=あり		-
▶ 挿入点を指定 または [図面枠] なし(≪)]<0,0>:		

自動生成モード

Step4 リタッチ

Drawingでは部材種類毎にページを分けて生成するため、必要であれば空いたスペースに他の部材を**移動**してください。 縮尺領域と一緒に移動することで、タイトルにも部材名が自動で挿入されます。 そしてeGenに情報のない荷重部材や特記など、図面に必要な情報をCAD機能を使って仕上げていきます。 CAD機能については**ヘルプページ**[F1キー]をご覧下さい。

部材リストを1枚にまとめる



※縮尺領域に情報があるため、部材リストを移動させると その図面枠にタイトルが自動で表示されます。



※図面完成後には印刷や、dwg/dxfへの書き出しが可能です。

印刷 –連続出力-

連続出力とは、特別な設定をしなくても、図面枠を認識して複数の図面を一度に印刷する機能です。



※連続出力

図面枠の情報を認識し、 用紙のサイズ・向き・縮尺の異なる図面でも、 一度に印刷できます。

rawing3	─ 選択した項目を	確認 回面枠名検索		
図面枠 分類	図面枠	図面枠 名称	図面枠 縮…	図面枠
A	101	1 階伏図	1:150	A3
A	106	5階伏図	1:150	A3
A	109	9階伏図	1:150	A3
A 1	111	R階伏図	1:150	A3
A	114	AI 轉額國	1:150	A3
1 A	116	×1軸組図	1:150	A3
A	121	地中梁リスト	1:60	A3
A	122	柱リストロ)	1:60	A3
A	123	柱リスト(2)	1:60	A3
1 A	124	柱リスト(3)	1:60	A3
A .	125	柱リスト(4)	1:60	A3
A	126	大梁リスト(1)	1:60	A3
A	127	大梁リスト(2)	1:60	A3
A .	128	大梁リスト(3)	1:60	A3
1 A	129	大梁リスト(4)	1:60	A3
A .	130	大梁リスト(5)	1:60	A3
1 A	131	大梁リスト(6)	1:60	A3
A 1	132	大梁リスト(7)	1:60	A3
A	133	小梁リスト、登リスト	1:60	A3
全体選択	全体選択解除	総 19個中 19個の図	面枠が選択されまし	٤.



CADファイルへ書き出し(dwg , dxf)

■現在のウィンドウを書き出し(dwg,dxf)

dwgファイルあるいは dxfファイルへ書き出します。

	■ 亡 ご 励 ← → - イル(F) 編集(E) ビュー(V) 挿入(I) Ħ	形式(0)	ツール(T)	作成(D)	寸法 (N	l) 修正(M)	ウィンドウ(W)
	 新規(FDX(N) 名称を付け(1未存(A) 書き出し(E) ページ設定管理(G) 印刷スタイル管理(Y) 	C tri +N	現在のウィ ウィンドウご 図面枠ごと	ンドウを書き出し(dv とに書き出し(dv	U(dwg, dxf) lwg) vg)			
書き出し (保存する場所の): (保存する場所の):	↓ Templates 名前	▼ ③ ♪ ▷ … ▼ 更新日時	種類	説明 サイズ:	-	X	かけます ス つっ ノ リ	4= >π
 ・ ・	「秋米来(中に一双9 6 ゆ	目目はありません。		作成: 修正: 接近: 一読み込み専 一暗号セキュ マプレビュー	冊で開く リティ 史用		01. AutoCAD 02. AutoCAD 03. AutoCAD 04. AutoCAD 05. AutoCAD 06. AutoCAD 07. AutoCAD	2010 (*.dwg) 2007 (*.dwg) 2004 (*.dwg) 2000 (*.dwg) Release 14 (*.dwg) 2010 ASC II (*.dxf) 2007 ASC II (*.dxf)
コンピューター () ネットワーク	* 11 ファイルを(N) 第日かいでは15mm ファイルの授献(D) AutoCAD 2010 (* dme)	•	・ 保存(S) キャンセル				08. AutoCAD 09. AutoCAD 10. AutoCAD 11. Design W	2004 ASC II (*.dxf) 2000 ASC II (*.dxf) Release 11/12 ASC II (*.d eb Format (*.dwf)

■ Jw-CAD用 dxfファイルに書き出し

Jw-cad用に文字化けを最小限に抑えたdxfファイルへ書き出します。





3. 構造図生成の基本設定

- 3. 構造図生成の基本設定
 - 3.1 図面枠の効用
 - 3.2 図面枠の登録
 - 3.3 オプション設定 伏図
 - 3.4 オプション設定 軸組図
 - 3.5 オプション設定 断面図
 - 3.6 オプション設定 部材リスト
 - 3.7 オプション設定 鉄筋記号グループの登録

\square

自動生成モード

伏図・軸組図の自動レイアウト

図面枠を利用すると、自動生成モードでは生成された作図領域内に図(縮尺領域)が納まっているか、用紙と図の位置関係が適切か、 などを確認できます。また、CADモードでは図を配置すると同時に図面枠が配置されます。 用紙と図の位置調整(レイアウト調整)は自動生成モードにて調整可能です。



※用紙と図(縮尺領域)の位置関係を調整(レイアウト調整)するには、 用紙のレイヤーを選択し、移動コマンドで移動してください。

部材リストの自動レイアウト

部材リスト生成時に図面枠を利用すると、作図領域に納まるように自動レイアウトされます。



 \square

図面枠自動配置

自動生成された図には、生成時に選択した図面枠が 図と同時に配置されます。



CADモード

連続印刷

異なる縮尺、用紙向き、用紙サイズも自動で認識するため、特別な設定が必要がありません。また、一括で印刷・PDF化が可能です。



図面リストの自動生成

配置してある図面枠を認識して、図面リストを自動生成します。



図面一括管理

仕様書や詳細図など**自動生成**以外の図を図面枠に配置することに より図面を一括管理できます。





CADモード

図面枠の登録では、DWG・DXF形式で作成された図面枠を midas Drawing に読込み、登録する方法を学習します。 プロジェクト名、図面名、縮尺などの情報が自動的に図面枠へ反映される"情報タグ"を設定すると、より高いパフォーマンスを発揮します。

■全5STEP

- STEP1. 図面枠データ(DWG・DXFファイル)の読込み
- STEP 2. 情報タグを割り当てる
- STEP3. 図面枠の登録
- STEP4. 図面枠をホストファイルに登録
- STEP5. 図面枠を使用する



STEP1. 他のCADで作成された図面枠データ(DWG・DXFファイル)の読込み





STEP3. 図面枠の登録 [作成]>「**図面枠形式定義**」選択 1 2 登録する図面枠の名称を入力 コマンド: SHEET 「挿入基準点を指定」クリック 2 修正**(**M) 作成(D) 「オブジェクト選択」クリック Δ 線分の 「**作図領域**選択」 無限線 クリック 建築事務所A3| \sim 名称(A) 📑 図面枠形式定義 基進力 酒垣 🚰 内部参照定義 画面上で指定 🗸 自動指定 画面上で指定 挿入基準点を指定(<u>K</u>) 🔣 オブジェクト選択(工) 📑 📢 領域選択 図面枠 幅: 0 維持图 0 X ◎図面枠に変換(@) 0 削除(D) Z: 0 👔 作図領域選択 🔒 選択したオブジェクトなし 設定 説明 ブロック単位(U)、ミリメートル 現在縮尺: 1 / 1 図面枠 サイズ: A3 1 R. - R -18.7 3.図面の基準点を指定 4.登録する図面枠全体を選択 5.自動生成時に基準となる領域を指定 予め作図領域の線を描いておくと便利です。 6 プレビューで確認 サンプル図面枠では印刷されないレイヤーで 描いてあります。 図面枠形 式を定義 また、部材リストはタイトル欄が作図領域より 上に表記されます。 建築事務所A3 名称(A) 作図領域の設定時はタイトル欄を考慮して オブジェクト 領域 フルビュ 基準点 画面上で指定 画面上で指定 🗸 自動指定 設定してください。 ➡ 領域選択 (タイトル文字高さ:4mmなので1cm程度 ▲ 挿入基準点を指定(人) 🔩 オブジェクト選択(①) 📑 図面枠 幅: 420,0000 は空けておくことをお勧めします) 維持(<u>R</u>) 0 X: 図面枠に変換(C) 図面枠 高さ: 297,0000 Ω Y: 削除(D) Z: ▶ 作図領域選択 28つのオブジェクトが選択さ 沿定 EX BR プロック単位(U) ミリメートル 現在縮尺: 71 図面枠 サイズ: A3 οк キャンセル 8 「OK」クリック 読み込んだ図面枠の縮尺と図面枠サイズを設定 *サンプルの図面枠は1/1の縮尺です。

CADモード

STEP4. 図面枠をホストファイルに登録後適用

ホストファイルに適用することで、新規作成や他のプロジェクトでも登録した図面枠を使用することが出来ます。





3.3 オプション設定-構造図面生成マネージャー 伏図

自動生成モード

構造図面生成マネージャーでは、オプションテンプレートで設定出来ない図面の表現方法を設定します。 自動生成前に設定を行います。

	sta 1	[メニュー] [構造図配	>[図面生 面生成マネ	Ė成]>[イ ヾージャー]	犬図を生成]〕 選択	>
図面生成(G) 図面更新(U) ヘルプ(H)	■■ 伏図を生成					×
eGenファイルを開く	図面セット 構造 業 図面		•]		
🐔 eGen'情報を削除する	柱芯図 杭伏図 基礎伏 図 一般階位	tw.				
	☑ 図面名	基準 FL	切断位置	可視深ざ	縮尺	図面枠
	1階 伏図	1F	1.5	3	1:100	midas SHEET A3
■ 講査 構造図面生成マネージャー	2階 伏図	2F	1.5	3	1:100	midas SHEET A3
	- 3階 伏図	3F	1.5	3	1:100	midas SHEET A3
部材リストテンプレートの編集 ▶	- ■ 4階 伏図	4F	1.5	3	1:100	midas SHEET A3
	☑ 5階 伏図	5F	1.5	3	1:100	midas SHEET A3
#╈ 構造設計概要を生成	☑ R谐 伏図	R階	1.5	3	1:100	midas SHEET A3
	構造図面生成マネージャー					OK ++>+211

 ★軸図面 野村リスト 部村の形状表現 (犬図に隠線を図化しない) (犬図に隠線を図化しない) (犬図にブレースを単線で図化する) (犬図にブレースを図化しない) (切町位置ラインにかかるブレースを図化しない) (切可視:深さラインにかかるブレースを図化しない) 	 ・朝台(1)・新田(1)-新田(1)-5-5-5-5-5-5-5-5-5-5-5-5-5-5-5-5-5-5-5	「面図に『올線を図化し』。 「面図に鉄骨ブレースを 「面図にブレースを図化 ラインにかかるブレースを	ない 単線で図化する しない 図化しない 図化しない
 ○鉄骨ピン接合部、鉄骨露出柱脚部あき間隔: 1.5 ⑦ 切断面及び同ーレベルで部材間の接続面の区分表現 — ◎ 全ての部材を区分 ◎ 部材種類だけ区分 ◎ ■ ■ 柱を区分する 	区分しない	 杭省略表現 杭省略位置: □ 下杭まで表現 	1.5 m
 部材寸法 表記 表記を省略(伏図・軸組図・断面図) 部材寸法 :縮尺 1 / 200 以上 伏図・断面図に部材偏心距離寸法を表記 「 偏心部材のみ表記する(伏図・柱・梁・壁、断面図: 軸組図・断面図に部材天端レベル寸法を表記 ▼ レベル移動部材のみ表記する(梁・スラブ) 	か部材長さ :直交梁・直交壁〉	4 m	未満
詳細設定 階表記の設定 ① 凡例の設定	Ê	1 ハッチングパター:	を設定



主成モード

	自動生
構造図面生成マネージャー	
伏軸図面 部材リスト	
部材の形状表現	
 	
3 一 伏図にブレースを図化しない	
④ □ 切断位置ラインにかかるブレースを図化しない	
5 -190 x C 1 7 C 17 1 3 7 7 X 2 2 1 C 186 1	
1 伏図に陰線を図化しない	
※可視深さに掛かる部材のうち、他部材により陰線になる場 この項目をチェックすると伏図で陰線を表示しません。(初期)	合、該当部材線を表示するか選択するオプションです。 直: チェック有)
チェック有(陰線を図化しない)	チェック無(陰線を図化する)
C1 <u>G1 C1</u>	C1 G1 C1
※G1梁下にRC壁がありますが陰線非表示とし	ています ※G1梁下にRC壁がある場合に陰線表示しています
2 伏図に鉄骨ブレースを単線で図化する	
※伏図にて鉄骨ブレースを単線で表現するか、部材の幅でま この項目をチェックすると伏図にブレースのみ単線で図化されま	現するかを選択するオプションです。 す。(初期値: チェック有)
チェック有(鉄骨ブレースを単線で図化する)	チェック無(鉄骨ブレースを部材幅で図化する)
-	
3 伏図にブレースを図化しない	
※ブレースの表示/非表示を設定するオプションです。(初期)	值: チェック 無)
チェック有(ブレースを図化しない)	チェック無(ブレースを図化する)
C1 G1 C1	C1 <u>V1 G1 V1 C1</u>
4 切断位置ラインにかかるブレースを図化しない	5 可視深さラインにかかるブレースを図化しない
※切断位置ラインにかかるブレースを図化するか否かを 設定します。(初期値: チェック無)	※可視深さ位置ラインにかかるブレースを図化するか否かを 設定します。(初期値: チェック無)
チェック有	チェック有
	田 一 可視深さライン



切断面及び同一レベルで部材間の接続面の区分表現

※部材表現を設定します。(初期値:区分しない)

◎全ての部材を区分



全ての部材を個別に区分して接触面を表示 します。

□柱を区分する



他のオプションの設定と関係なく、柱の切断線 を閉じたポリラインで表現します。

◎部材種類だけ区分



部材タイプが互いに異なる場合に接触面を 表示します。 ◎区分しない



同一レベルで全ての部材間の接続面を表示 しません。鉄骨部材には適用されません。 3.3 オプション設定-構造図面生成マネージャー 伏図



8 表記を省略(伏図・軸組図・断面図)

※部材寸法の出力を調整します。伏図や軸組図・断面図の部材寸法にそれぞれ関連しています。(初期値:チェック無) ここにチェックを入れると、右記の設定(初期値:縮尺1/200以上か部材長さ4m未満)の場合に部材寸法が省略されます。







縮尺が小さく、寸法を描くスペースのない場合に使用。線形の部材(梁・壁・ブレース) にのみ対応しています。

伏図・断面図に部材偏心距離寸法を表記

9

※eGenで偏心させた部材(伏図:柱・梁・壁、断面図:直交梁・直交壁)のみ寸法を表示します。(初期値:チェック有)



偏心した部材の偏心距離寸法のみ表記されます。

チェック無



全ての寸法が表記されます。



[凡例の設定]>[伏軸用リスト名称(凡例)]

10

※伏図に凡例の出力の有無を指定します。部材ごとに選択できます。RCとS部材は同名称で管理されます。

		-					
部材種類	部材リスト名称	伏軸用リスト名称(凡例)	凡例を使用	Â			
基準レベル	-	特記以外は下記による	V				
スラブ/梁天端レベル	-	スラブ/梁天端レベル	V				
柱	柱リスト	柱リスト	V				
大梁	大梁 リスト	大梁 リスト	V				
小梁	小梁リスト	小梁 リスト	V				
地中梁	地中梁リスト	地中梁リスト	V	_			
ブレース	ブレース リスト	ブレース リスト	V	=			
壁	壁リスト	壁リスト	V				
スラブ	スラブ リスト	スラブ リスト	V				
独立基礎	独立基礎リスト	独立基礎リスト	V				
べた <u>基礎</u>	べた基礎リスト	べた基礎 リスト	V				
 布基礎	布基礎リスト	布基礎リスト					
鉄骨柱	鉄骨柱リスト	-			伏图凡:		
<u>鉄</u> 骨大梁	鉄骨大梁リスト	-				外は下配による	
# · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	鉄骨小塗りひと	-			FL=R2	H8L+3200	
44日ゴレー7	(料理ゴレーフ 川フト)	-			柴天 城	iレベル=凡±0	
デッセントゴ	デッセフラブ リフト	デッセフラブ リフト	100		□柱!	リスト	
テリオヘノノ	ラッキへフラッスト	594X959XF			符号		
38,00,1±820 376,466,90	98급11±₩₩ ソスト (75:40-5-11-1	-		1	C1	600X600	
采施于	采袖子 リスト			17	62	500X500	
					63	6000600	
					C4	600X600	
		ок	+++)	セル		6007600	
					44	400(600	
					82	400X600	
					63	400X600	
					64	400X600	
(9) rr - 10-					610	1 400X600	
					610	2 400X600	
		-1-66			6103		
					040	3 4003600	
-					610-	4 400X600	
					610- ロ 小架	3 4000,600 4 4000,600 ミリスト	
					610- □小梁 祥年	3 4000000 4 40000600 ミリスト き 所面 20006600	
					610- 日小銀 神短 81	3 40000000 4 40000600 2 リスト 3 第7百 30000600	
					6100 二 小銀 符号 	3 4000000 4 4000600 3 リスト 3 1000600 3000600 3000600	
• - 2					610 一小銀 件5 日1 B2 B3	3 400x000 4 400x600 3 リスト 3 00x600 300x600 300x600	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					610- 小練 将短 81 82 83 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	3 4000000 4 4000600 2 リスト 3 000600 3000600 3000600 リスト 4 4000600 3000600 3000600	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					610- 一 小練 一 小練 月1 月2 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	3 400000 4 4000600 2 リスト 3 000600 3 000600 3 000600 リスト 3 000600 1 0 0 1 0 1	J.3



構造図面生成マネージャー			x
伏軸図面 部材リスト 部材の形状表現			
	☑ 車曲組図・助	「面図に陰線を図化しない	
		1	
階表記の設定	凡例の設定	ハッチングパターンを設定 📃	

[ハッチングパターンを設定]>[伏図ハッチング]

11

※Drawingでは、スラブと梁のレベル段差をハッチングを用いて表現します。各階の基準レベルは0段目となり、 基準レベルより1段高いレベル段差は"1段目"となり、低い段差は"-1段目"のハッチングパターンが使用されます。

サビメ 10000 10000 10000	Pyrメア HKB/N9年ノダ レベル緑産 ハウボノダパターン ● 0.02 368日 0.02 0.02 368日 ANSI31 0.02 368日 ANSI32 0.02 368日 ANSI33 0.02 368日 ANSI34 0.02 368日 ANSI35 0.02 368日 ANSI37 ANSI37 3600022 ANSI37 ANSI37 3600022 ANSI37 ANSI37 <t< th=""><th></th><th></th><th>ハレット</th><th>ハッチングバターンバ</th><th></th><th>and the second se</th><th>and the second se</th><th></th><th>/ / Carl</th><th></th></t<>			ハレット	ハッチングバターンバ		and the second se	and the second se		/ / Carl	
レイアジングパターン ● <t< th=""><th>レベル体密 ハッチングパターン 小飯 福田 ロ</th><th></th><th><i>†</i>-</th><th>也の定義済みパターン ユー</th><th>ANSI ISO 他(</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>ハッチング</th><th>ッチング 柱状図</th></t<>	レベル体密 ハッチングパターン 小飯 福田 ロ		<i>†</i> -	也の定義済みパターン ユー	ANSI ISO 他(ハッチング	ッチング 柱状図
1988 HEX 0 0.2 1988 OCT_LALASS 0 0.2 1988 OCT_LALASS 0 0.2 1988 OCT_LALASS 0 0.2 1988 OCT_LALASS 0 0.2 1988 OLSH 0 0.2 1988 OLSH 0 0.2 -1988 ANSI31 0 0.2 -1988 ANSI35 0	558日 HEX 0 0.2 368日 OCOST GLASS 0 0.2 368日 ANSI33 0 0.2 -368日 ANSI33 0 0.2 -4681 ANSI33 0 0.2 -3681 ANSI33 0 0.2 -3681 ANSI33 0 0.2 -3681 ANSI34 0 0.2 -3681 A						縮尺比率	角度		ハッチングパターン	レベル段差
148日 OOST (1 AAS 0	148日 000T_0LASS 0		ANS133	ANSI32	ANSI31		0.2	0		HEX	569日
318日 0000 0	WHIL CONSULTS Constraint Constraint <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.2</td> <td>n</td> <td></td> <td>GOST GLASS</td> <td>4F28日</td>						0.2	n		GOST GLASS	4F28日
18日 DASH 0<	148日 DASH 0 0.2 148日 DOTS 0 0.2 148日 DOTS 0 0.2 148日 DOTS 0 0.2 -248日 ANSI31 0 0.2 -348日 ANSI33 0 0.2 -448日 ANSI33 0 0.2 -548日 ANSI35 0 0.2 -748日 ANSI34 0 0.2 -948日 ANSI35 ANSI35 ANSI36 ANSI35		177	77772			0.2	n		CROSS	36分日
13日 DOTS 0<	IfEE DOTS 0 02 IfEE 0 02 0 02 -1182 ANSI31 0 02 0 02 -3488 ANSI33 0 02 0 02 -3488 ANSI34 0 02 0 02 -1048 ANSI34 90 02 0 02 -1048 ANSI34 90 02 0 0 0 -1048 ANSI34 90 <td></td> <td>21</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.2</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>DASH</td> <td>2段日</td>		21				0.2	0	-	DASH	2段日
1988 ● 0 02 -2568 ANSI31 ● 0 02 -388 ANSI33 ● 0 02 -4588 ANSI33 ● 0 02 -5688 ANSI35 ● 0 02 -6688 ANSI35 ● 0 02 -6688 ANSI35 ● 0 02 -6688 ANSI35 ● 0 02 -9688 ANSI35 ● 0 02 -9688 ANSI34 ● 0 02 -9688 ANSI34 ● 0 02 -9688 ANSI34 ● 0 02 -10468 ANSI35 0 0 0 <td>068日 0 02 -148日 ANSI31 0 02 -248日 ANSI33 0 02 -348日 ANSI33 0 02 -448日 ANSI33 0 02 -548日 ANSI33 0 02 -748日 ANSI33 0 02 -648日 ANSI33 0 02 -748日 ANSI33 0 02 -848日 ANSI37 6 02 -848日 ANSI37 6 02 -948日 ANSI34 90 02 -10481 ANSI34 90 02 <t< td=""><td></td><td>ANSI36</td><td>ANSI35</td><td>ANSI34</td><td></td><td>0.2</td><td>0</td><td>F</td><td>DOTS</td><td>1段目</td></t<></td>	068日 0 02 -148日 ANSI31 0 02 -248日 ANSI33 0 02 -348日 ANSI33 0 02 -448日 ANSI33 0 02 -548日 ANSI33 0 02 -748日 ANSI33 0 02 -648日 ANSI33 0 02 -748日 ANSI33 0 02 -848日 ANSI37 6 02 -848日 ANSI37 6 02 -948日 ANSI34 90 02 -10481 ANSI34 90 02 <t< td=""><td></td><td>ANSI36</td><td>ANSI35</td><td>ANSI34</td><td></td><td>0.2</td><td>0</td><td>F</td><td>DOTS</td><td>1段目</td></t<>		ANSI36	ANSI35	ANSI34		0.2	0	F	DOTS	1段目
- 148日 ANSI31 0 0 02 - 248日 ANSI33 0 0 02 - 548日 ANSI33 0 0 02 - 548日 ANSI35 0 0 02 - 548日 ANSI37 0 45 02 - 548 - 5480 ANSI37 0 45 02 - 548 - 5480 ANSI37 0 45 02 - 548 - 5480 ANSI37 0 45 02 - 5480 ANSI27 0 40 02 - 5480									F		0段目
- 248日 ANSI31 ● 90 02 - 468日 ANSI33 ● 0 02 - 568日 ANSI33 ● 0 02 - 568日 ANSI35 ● 0 02 - 568日 ANSI35 ● 0 02 - 568日 ANSI37 ● 45 02 - 968日 ANSI37 ● 45 02 - 9680 ANSI37 ● 45 02 - 9680 ANSI37 ● 45 02 - 9680 ANSI37 ● 45 02 - 9690 ANSI38 ANSI38 ● 90 02 - 9680 ANSI37 ● 45 02 - 9690 ANSI38 ANSI38 ● 90 02 - 9700 ANSI38 ANSI38 ANSI38 ● 90 02 - 9700 ANSI38 ANSI38 ● 90 02 - 9700 ANSI38	-242日 ANSI31 90 02 -346日 ANSI33 0 02 -646日 ANSI35 0 02 -646日 ANSI35 0 02 -646日 ANSI35 0 02 -646日 ANSI37 45 02 -946日 ANSI34 0 02 -1046日 ANSI34 0 02 -1046日 ANSI34 90 02 -6461						0.2	0	F	ANSI31	-1段目
-342目 ANSI37 0 02 -442目 ANSI33 0 02 -542目 ANSI33 0 02 -542目 ANSI35 0 02 -642目 ANSI35 0 02 -942目 ANSI35 0 02 -942目 ANSI35 0 02 -942目 ANSI35 0 02 -9421 ANSI35 0 02 -9421 ANSI34 0 02 -9421 ANSI34 0 02 -10428 ANSI4 0 02 -10428 ANSI4 0 02 -10428 ANSI4 0 0	-33日 ANSI37 0 02 -34日 ANSI33 0 02 -54日 ANSI33 0 02 -54日 ANSI35 0 02 -6481 ANSI35 0 02 -9491 ANSI34 0 02 -10481 ANSI34 90 02 - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - <			823			0.2	90	F	ANSI31	-2段目
- 448日 ANSI33 ● 0 02 - 648日 ANSI33 ● 0 02 - 648日 ANSI35 ● 0 02 - 848日 ANSI35 ● 0 02 - 948日 ANSI37 ● 45 02 - 948日 ANSI34 ● 0 02 - 108日 BIBIN (NFナングパターンはテンプレートよりもマネージヤーの設定が 優先されます レイアウト調整時にノッチングのパターンは変更できますが、 設計変更されたeGen3Dモデルを再度読込み、レイアウト 調整したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設たでノッチングされます。 これは、設計変更時にレーベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。	-44段目 ANSI33 0 02 -54段目 ANSI33 90 02 -64段目 ANSI33 90 02 -74段目 ANSI35 0 02 -64段目 ANSI35 0 02 -64段目 ANSI35 0 02 -64段目 ANSI37 445 02 -64段目 ANSI34 0 02 -948日 ANSI34 0 02 -10481 ANSI34 90 02 -10481 ANSI34 90 02 -10491 ANSI34 90 02 -10491 ANSI34 90 02 -0K ***/20/ MS 10° f@o2@ijan /to-vitor/ -0K ***/20/ MS 0° f@o2@ijan /to-vitor/ /// FO/5/10/5/->//// ANSI36 0 02 // FO/5/10/5/->/// ANSI36 ANSI36 ANSI // FO/5/10/5/->/// ANSI ANSI Aneeosi // FO/5/10/5/->//			ANSI38	ANSI37		0.2	0		ANSI37	-3段目
- 548日 ANSI33 ● 90 0 02 - 748日 ANSI35 ● 0 0 02 - 748日 ANSI37 ● 45 0 0 2 - 948日 ANSI37 ● 45 0 2 - 948日 ANSI34 ● 0 0 2 - 1048日 ANSI34 ● 0 0 2 - 1048日 ANSI34 ● 90 0	-55段目 ANSI33 90 02 -66段目 ANSI35 0 02 -768日 ANSI35 90 02 -969日 ANSI37 45 02 -969日 ANSI37 45 02 -969日 ANSI34 0 02 -106日 ANSI34 90 02 -106日 ANSI34 90 02 -00 ************************************						0.2	0	F	ANSI33	-4段目
- 64段目 ANSI35 0 0 02 - 74段目 ANSI35 90 02 - 94段目 ANSI37 45 02 - 10月日 ANSI34 0 0 02 - 10月 - 10月日 ANSI34 0 0 02 - 10月 - 1	-06日 ANSI35 0 0.2 -776日 ANSI35 90 0.2 -96日 ANSI35 90 0.2 -96日 ANSI37 4.5 0.2 -96日 ANSI37 4.5 0.2 -96日 ANSI34 0 0.2 -96日 ANSI34 0 0.2 -106日 ANSI34 0 0.2 -662 ANSI34 0 0.2 -672 ANSI34 0 0.2 -672 ANSI34 0 0.2 -672 -672 -742 ANSIA -672 -762 -762 -762 -672 -772 -142 -672 -672					1	0.2	90	F	ANSI33	-5段目
- 7月日 - 7月日日 - 7月	-7指目 ANSI35 90 02 -8指目 ANSI37 45 02 -94段目 ANSI37 45 02 -94段目 ANSI37 45 02 -94段目 ANSI37 45 02 -94段目 ANSI37 90 02 -105段日 ANSI34 90 02 -105段日 ANSI37 45 02 -105段日 ANSI37 45 02 -105段日 ANSI37 90 02 -105段日 ANSI37 45 02 -105段日 ANSI37 45 02 -1058日 ANSI37 45 02 -1058日 ANSI37 45 02 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597 -10597						0.2	0		ANSI35	-6段目
- 686日 ANSI37 ● 45 02 - 986日 ANSI37 ● 45 02 - 986 - 986 - 986 - 997 - 997 - 997 - 997 - 997 - 997 - 997 - 997 - 997 - 907 - 9	-948目 ANSI37 45 02 -948目 ANSI34 0 02 -1048日 ANSI34 0 02 -1048日 ANSI34 90 02 -0000 ANSI34 AR-BRIS AR-BRIS AR-BRIS AR-BRIS AR-BRIS AR-BRIS AR-BRIS AR-BRIS AR-CONO AR-HEDONE AR-PROOF AR-HEDONE AR-BRIS AR-RROOF AR-BRIS AR-PROOF AR-BRIS AR-RROOF AR-BRIS AR-RROOF AR-BRISHE					The second s	0.2	90	F	ANSI35	-7段目
-99日 ANSI34 0 02 -106日 ANSI34 90 02 「106日 ANSI34 AR-B816 AR-B816 「10797) AR-B915 AR-B8150 AR-B816 AR-B7570 AR-B70	-98日 ANSI34 0 02 -108日 ANSI34 90 02 -108日 ANSI34 90 02 -108日 ANSI34 90 02 -108日 ANSI34 90 02 -0K キャンセル ANSI 150 Mogenization ハッチングパターンはテンプレートよりもマネージャーの設定が 優先されます ANSI 150 Mogenization レイアウト調整時にしいチングのパターンは変更できますが、 設計変更されたeGen 3Dモデルを再度読込み、レイアウト 調整したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設定でハッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。 AR-BR3 AR-HEDINE AR-PROI AR-HEDINE AR-HEDINE AR-HEDINE						0.2	45		ANSI37	-8段目
 -10歳目 ANSI34 0 02 	 -1048目 ANSI34 90 02 	av. bible	_				0.2	0		ANSI34	-9段目
13階級通加 13階路通加 OK キャンセル OK キャンセル AHSI ISO 100支第済みパターン 1-ザ- AHSI ISO 100支第済みパターン 1-ザ- AHSI ISO 100支第済みパターン 1-ザ- 100支第方 AHSIE	経路追加 経路消除 OK キャンセル OK キャンセル ANSI ISO MOST ISO グレッチングパクターンはテンプレートよりもマネージャーの設定が 優先されます ISO レイアウト調整時にノッチングのパターンは変更できますが、 設計変更されたeGen3Dモデルを再度読込み、レイアウト 調整したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設定でハッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。 ISO	UK 49/2				Ţ	0.2	90		ANSI34	-10段目
OK キャンセル バッチングパターンはテンプレートよりもマネージャーの設定が 優先されます SOLID 田田 AR-B816 レイアウト調整時にノッチングのパターンは変更できますが、 設計変更されたeGen3Dモデルを再度読込み、レイアウト 調整したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー シャーのレベル段差の設定でノッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。 Image: Construction of the set of th	OKキャンセルレイアウト調整時にノッチングのパターンは変更できますが、 設計変更されたeGen3Dモデルを再度読込み、レイアウト 調整したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設定でノッチングされます。Image: Construct of the c		<u>1</u> -		ハッチングバターンバ						
$ \begin{array}{c} \begin{matrix} \square \\ \square$				也の定義済みパターン ユー	ハッチングバターンバ ANSI ISO 他の						
SOLD ANGLE AR-B816 SOLD ANGLE AR-B816 いサチングパターンはテンプレートよりもマネージャーの設定が 優先されます レイアウト調整時にノッチングのパターンは変更できますが、 設計変更されたeGen 3Dモデルを再度読込み、レイアウト 調整したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設定でノッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。 SOLD ANGLE AR-B816 AR-B8160 ARE AR-B816 AR-B8160 ARE AR-B816 AR-B8160 ARE AR-B816 AR-B8160 ARE AR-B816	ハッチングパターンはテンプレートよりもマネージャーの設定が 優先されます SOLID ANGLE AR-B816 レイアウト調整時にノッチングのパターンは変更できますが、 設計変更されたeGen3Dモデルを再度読込み、レイアウト 調整したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設定でハッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。 AR-B83 AR-B83 AR-B816C			也の定義済みパターン ユー	ハッチングパターンパ ANSI ISO 他の	·ンセル	ж [‡∗				
ハッチングパターンはテンプレートよりもマネージャーの設定が 優先されますこれに AR-BB150これに AR-BD1 <td>ハッチングパターンはテンプレートよりもマネージャーの設定が 優先されます コート コート</td> <td></td> <td></td> <td>也の定義済みパターン ユー</td> <td>ANSI ISO</td> <td>1741</td> <td>)к (**</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	ハッチングパターンはテンプレートよりもマネージャーの設定が 優先されます コート			也の定義済みパターン ユー	ANSI ISO	1741)к (**				
ハッチングパターンはテンプレートよりもマネージャーの設定が 優先されます レイアウト調整時にハッチングのパターンは変更できますが、 設計変更されたeGen3Dモデルを再度読込み、レイアウト 調整したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設定でハッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。	ハッチングパターンはテンプレートよりもマネージャーの設定が 優先されます レイアウト調整時にノッチングのパターンは変更できますが、 設計変更されたeGen3Dモデルを再度読込み、レイアウト 調整したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設定でハッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。 ロー AR-PARO1 AR-PRODE AR-PRODE AR-PRODE AR-PRODE AR-PRODE AR-PRODE AR-PRODE		AR-B816	他の定義済みパターン L ANGLE			ж (**				
優先されます レイアウト調整時にノッチングのパターンは変更できますが、 設計変更されたeGen 3Dモデルを再度読込み、レイアウト 調整したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設定でノッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。	優先されます AR-BRIGC AR-BR		AR-B316	地の定義済みパターン 日 ANGLE		ישבאו	DK (¥t				
レイアウト調整時にノッチングのパターンは変更できますが、 設計変更されたeGen3Dモデルを再度読込み、レイアウト 調整したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設定でノッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。	レイアウト調整時にノッチングのパターンは変更できますが、 設計変更されたeGen3Dモデルを再度読込み、レイアウト 調整したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設定でハッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。		AR-B816	地の定義済みパターン 日日 ANGLE		_{マンセル}	ok キャ ージヤーの訳	<u>よりもマネ-</u>	<mark>/-ト</mark>	ッ マーンはテンプレ	ハッチングパ
は計変更されたeGen3Dモデルを再度読込み、レイアウト 調整したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設定でハッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。	おけっても同差に対してリアンのパワンはな変更とならりが、 おけってもなって、 のパワントはなりましたものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設定でハッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。		AR-B816	地の定義済みパターン ANGLE ANGLE AR-B88		シセル	⊃ĸ (** -ジヤーの話	よりもマネ-	/—h	ターンはテンプレ す	ハッチングパ 優先されま
は計を文にすなとないためです。 調整したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設定でハッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。	は日安したものをテンプレートとして指定して生成しても、マネー ジャーのレベル段差の設定でハッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。		AR-B816	地の定義済みパターン ANGLE AR-B88			≫ →ジヤーの設 ※ 面できま	よりもマネー	<u>ノート</u>	ターンはテンプし す 回教時(こ)いいぞう	ハッチングパ 優先されま
調査のたちのアククレートとりて消走りて上述りても、マネー ジャーのレベル段差の設定でハッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。	調査したものをプランレートとして目在して生気のとし、マネー ジャーのレベル段差の設定でハッチングされます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。		AR-B816 AR-BRELM	地の定義済みパターン ANGLE AR-B88		シセル シセル なたが、 (アウト	○ キャ ージヤーの設 変更できま おひみしょ	よりもマネ- パターンは	ノート	ターンはテンプし す 周整時にノッチン	ハッチングパ 優先されま レイアウト調調
ンマーのレベル設定の設定でパッテングとれます。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じパッチングパターンが使われることを防ぐためです。	シャーのレイい段差の設定 C / ツテング24 18 9。 これは、設計変更時にレベル段差の数が変更された時に 同じ/ツチングパターンが使われることを防ぐためです。		AR-BRIG AR-BRELM	地の定義済みパターン ANGLE AR-B88		シェセル シェセル さすが、 (アウト ションネー	→ジヤーの設 変更できま 記込み、レ1 (生成してま)	よりもマネー パターンは ルを再度調	レート・ ングの ンモデ	ターンはテンプし す 周整時にノッチン されたeGen3E	ハッチングパ 優先されま レイアウト調調教したま
C1 には、該目後受時にレイソル技定の数が後更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。	には、設計を更時にレインド技差の数がを更された時に 同じハッチングパターンが使われることを防ぐためです。		AR-B816 AR-BRELM AR-HEONE	地の定義済みパターン ANGLE AR-E888 AR-CONC		マンセル なたが、 ですが、 (アウト 5、マネー	→ アマーの設 変更できま むひんしても づきます	よりもマネ- パターンは ルを再度記 て指定して	レート ングの ひモデ トとし	ターンはテンプし す 周整時にノッチン されたeGen3E	ハッチングパ 優先されま レイアウト調整した
	IPJUハッテノソハックーノル当先生は「GCCでPJN、にのじり。 AR-PARQ1 AR-RROOF AR-RSHKE		AR-BRELM AR-HEONE	地の定義済みパターン ANGLE AR-B88 AR-CONC	ANSI ISO MO SOLID AR-BRIEC AR-BRETD	マンセル なたが ですが、 (アウト ら、マネー 	・ジャーの設 変更できま ・としても に ・なしても に れ に ます ・ カ ・ カ ・ ・ ・ ・ ・ ホ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	よりもマネー パターンは ルを再度記 て指定して ジチングされ	レートングのデートとでハロ	ターンはテンプし す 周整時にノッチン されたeGen3E らのをテンプレー	ハッチングパ 優先されま レイアウト調 調を一のレルション
			AR-BRELM AR-HEONE	地の定義済みパターン ANGLE AR-B88 AR-CONC		マンセル なたが、 ですが、 (アウト う、マネー :時に	★ キャー・シャーの設 変更できま 記込み、レイ 1を成しても れま更されたた ペキャー・オー・マー・シャー・シャー・シャーの設 変更できまっ。 できまののできま。	よりもマネー パターンは ルを再度して が手ングされ シスニーをか	レートングのデレートとでハド	ターンはテンプし す 周整時にノッチン されたeGen3E うのをテンプレー 「 、のを美の設立」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ハッチングパ 優先されま シイアウト調 ジャーのしい こ にしいます
			AR-BRELM AR-BRELM AR-BRELM AR-ABONE AR-ABONE	地の定義済み パターン ANGLE AR-B88 AR-CONC		マンセル なすが、 (アウト 5、マネー :時に	→ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	よりもマネー パターンは ルを再定して ッチングされ 没差の数が いることを防	レート ングのデジートとし、 日本の人口の人口の人口の人口の人口の人口の人口の人口の人口の人口の人口の人口の人口の	ターンはテンプし す 割整時にノッチン されたeGen3E うのをテンプレー ペル段差の設定 計変更時にレ/ ングパターンが復	ハッチングパ 優先されま レイアウト調 調整したも ジャーのレッ これは、設 同じハッチ!
			AR-BRELM AR-BRELM AR-BRELM AR-HEONE AR-RSHKE	他の定義済みパターン ANGLE ANGLE AR-B88 AR-CONC AR-RROOF		マンセル さすが、 (アウト 5、マネー :時に	 デヤーの設 変更できま 記込み、レイ 生成しても れます。 変更された ぐためです。 	よりもマネー パターンは した再度して で指定して シチングされ 設差の数が にることを防	レート ングのデし ハ月和	ターンはテンプし す 周整時にノッチン されたeGen3E うのをテンプレー イル段差の設定 計変更時にレッ ングパターンが修	ハッチングパ 優先されま レイアウト調 調整したも ジャーのレッ これは、設 同じハッチ!

課題. 伏図生成

3F 伏図 1:100

マネージャー設定を調整して伏図を生成してみましょう。 囲み部分が調整して生成した箇所です。



デフォルト設定



設定調整図

3.4 オプション設定-構造図面生成マネージャー 軸組図 📐

自動生成モード

構造図面生成マネージャーでは、オプションテンプレートで設定出来ない図面の表現方法を設定します。 自動生成前に設定を行います。

	択または	-1 [メニュ- [構造図	-]>[図面生成] 図面生成マネージ	>[伏図を生成 ヤー]選択	[]>	
図面生成(G) 図面更新(U) ヘルブ(H)	動組図を生成 図面やット 構	檀進図面				X
- Gen情報を削除する		Sin of the		× (60		_
3D モデルに書き出し →	✓ 区面花	通D名称 X1	-1.9 3.4	e 前插尺 1:100	midas SHEET A3	_
■ 構造図面生成マネージャー	 ✓ ×2車曲組図 ✓ ×3車曲組図 	×2 ×3	-1.7 3.4 -1.7 3.4	1:100	midas SHEET A3 midas SHEET A3	
部材リストテンプレートの編集	 ✓ ×4軸組図 ✓ ×5軸組図 	×4 ×5	-1.7 3.4 -1.5 3.4	1:100	midas SHEET A3 midas SHEET A3	
井子 構造設計概要を生成	✓ Y1庫組図	Y1	-1.5 3.4	1:100	midas SHEET A3 midas SHEET A3	_
	V3≢ehat⊠	Y3	-1.9 3.4	1:100	midas SHEET A3	
	構造図面生成マネージャー				<u>ОК</u> <i>‡</i> ү)	212M

「伏軸図面」を確認します 2 構造図面生成マネージャ・ 伏軸図面 部材リスト 部材の形状表現 1 ☑ 軸組図・断面図に陰線を図化しない 📃 伏図は隠線を図化しない 📝 伏図に鉄骨ブレースを単線で図化する 2 🔲 軸組図・断面図に鉄骨ブレースを単線で図化する - 一 伏図にブレースを図化しない 🚯 🔲 軸組図・断面図にブレースを図化しない ── 切断位置ラインにかかるブレースを図化しない 🕢 🔲 切断位置ラインにかかるブレースを図化しない 🐻 🔲 可視深さラインにかかるブレースを図化しない 📝 可視深さラインにかかるブレースを図化しない 1.5 🜀 鉄骨ビン接合部、鉄骨露出柱脚部あき間隔: 🕡 🖓 切断面及び同一レベルで部材間の接続面の区分表現 -😮 - 杭省略表現 杭省略位置: 1.5 ◎ 全ての部材を区分 ◎ 部材種類だけ区分 ◎ 区分しない m ■ 柱を区分する □ 下杭まで表現 部材寸法 表記 (2) 表記を省略(伏図・軸組図・断面図) : 縮尺 17 200 以上が部材長さ 4 m 未満 📃 部材寸法 伏図・断面図に部材偏心距離寸法を表記 ☑ 偏心部材のみ表記する(伏図:柱·梁・壁、 断面図:直交梁・直交壁) 10 軸組図・断面図に部材天端レベル寸法を表記 📝 レベル移動部材のみ表記する。(梁・スラブ) 詳細設定 👔 階表記の設定 🔜 ヘルプ(F1) OK キャンセル





軸組図・断面図に陰線を図化しない

※可視深さに掛かる部材のうち、他部材により陰線になる場合、該当部材線を図化するかどうか選択するオプションです。(初期値: チェック有)



例) 梁断面の奥にある柱の埋め込み部分が 図化されていません。

チェック無(陰線を図化する)



例)柱の埋め込み部分を図化します。

2 軸組図・断面図に鉄骨ブレースを単線で図化する

※軸組図・断面図にて鉄骨ブレースを単線で表現するか、部材の幅で表現するかを選択するオプションです。 この項目をチェックすると鉄骨ブレースを単線で図化します。(初期値:チェック無)









3 軸組図・断面図にブレースを図化しない

※構造断面図生成時、チェックを入れると全てのブレースを除外して生成します。(初期値: チェック無)



切断位置ラインにかかるブレースを図化しない

※構造断面図生成時、切断位置ライン(部材手前側)にかかる ブレースを除外して生成します。 (初期値: チェック無)



例) 柱手前のSV1が図化されていません。



可視深さラインにかかるブレースを図化しない

※構造断面図生成時、可視深さライン(部材向こう側) にある ブレースを除外して生成します。 (初期値: チェック無)

自動生成モード



例) 柱の向こう側にあるSV2が図化されません。



※eGenにて埋込柱脚に指定した場合は、のようになります。

7 切断面及び同一レベルで部材間の接続面の区分表現

地中梁

※部材表現を設定します。(初期値:区分しない)

◎全ての部材を区分



全ての部材を個別に区分して接触面を 表示します。

杭省略表現

※杭の表現長さを設定します。(初期値:1.5m)

部材種類だけ区分
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #
 #

1/100

部材タイプが互いに異なる箇所の接触面を 表示します。

◎区分しない



同一レベルで全ての部材間の接続面を 区分表示しません。 鉄骨部材には適用されません。


3.4 オプション設定-構造図面生成マネージャー 軸組図 📐





OK キャンセル

3.4 オプション設定-構造図面生成マネージャー 軸組図







X

自動生成モード

軸図面部材切入ト		
部材の形状表現	☑ 構造的通	回回に陰線を図化しな()

[凡例の設定]>[伏軸用リスト名称(凡例)]

※軸組図の凡例は、壁スリットと鉄骨継手のみ表記されます。 表記したくない場合は「特記外は下記による」のチェックを外してください。

-1212	小台十市	出設人に	

12

				4
基準レベル	-	特記以外は下記による	V	
スラブ/梁天端レベル	-	スラブ/梁天端レベル		I
柱	柱リスト	柱リスト		l
大梁	大梁 リスト	大梁 リスト	v	
小梁	小梁リスト	小梁リスト	V	
地中梁	地中梁 リスト	地中梁 リスト	V	1
ブレース	ブレース リスト	ブレース リスト	V	
壁	壁リスト	壁 リスト	V	1
スラブ	スラブ リスト	スラブ リスト	V	1
独立基礎	独立基礎リスト	独立基礎リスト	V	1
べた基礎	べた基礎リスト	べた基礎リスト	V	1
布基礎	布基礎リスト	布基礎リスト	V	1
鉄骨柱	鉄骨柱リスト	-		ł
鉄骨大梁	鉄骨大梁 リスト	-		1
鉄骨小梁	鉄骨小梁リスト	-		l
鉄骨ブレース	鉄骨ブレースリスト	-		l
デッキスラブ	デッキスラブ リスト	デッキスラブ リスト	V	1
露出柱脚	露出柱脚リスト	-		ł
梁維手	梁維手 リスト	-		ľ
				1



課題. 軸組図生成

X5 軸組図 1:100

Y3 軸組図 1:100

マネージャー設定を調整して軸組図を生成してみましょう。 囲み部分が調整して生成した箇所です。



デフォルト設定

設定調整図





デフォルト設定

設定調整図





自動生成モード

構造図面生成マネージャーでは、オプションテンプレートで設定出来ない図面の表現方法を設定します。 自動生成前に設定を行います。



伏軸図面部材リスト				
部材の形状表現 伏図に隠線を図f ダ 伏図にここに、 (大図にごサースを 一 切断位置ラインに ダ 可視深さラインに	としない -スを単線で図化する 図化しない かかるブレースを図化しない かかるブレースを図化しない	 ● 軸組図・断面 ● 軸組図・断面 ③ ● 軸組図・断面 ④ 一 切断位置ライ ⑤ ■ 可視深さライン 	図にP陰線を図化しな 図に鉄骨ブレースを5 図にブレースを図化し ンにかかるブレースを いにかかるブレースを5	い 単線で図化する しない 図化しない 図化しない
6 鉄骨ピン接合部、鉄骨	野露出柱脚部あき間隔	1.5		
⑦ - 切断面及び同一レ/ ◎ 全ての部材を区 ■ 柱を区分する	ドルで部材間の接続面の区分表: 分 ◎ 部材種類だけ区分	現 8 図 区分しない	杭省略表現 杭省略位置: ○○下杭まで表現	1.5 m
部材寸法 表記 ② 表記を省略(伏図・ 一部材寸法 ⑦ 供図・断面図に部体 ② 偏心部材のみ 軸組図・断面図に2 ◎ レベル移動部材	軸組図・断面図) :縮尺 1 / 200 対偏心距離寸法を表記 表記する(伏図:柱・梁・壁、断 が村天端レベル寸法を表記 対のみ表記する。(梁・スラブ)	以上か部材長さ 面図:直交梁・直交壁)	4 m A	彩海
詳細設定 12 階表記の設定 [の設定	ハッチングパターン	を設定 🛄





軸組図・断面図に陰線を図化しない

※可視深さに掛かる部材のうち、他部材により陰線になる場合、該当部材線を図化するかどうか選択するオプションです。(初期値: チェック有)







例)柱の埋め込み部分を図化します。

軸組図・断面図に鉄骨ブレースを単線で図化する

2

※軸組図・断面図にて鉄骨ブレースを単線で表現するか、部材の幅で表現するかを選択するオプションです。 この項目をチェックすると鉄骨ブレースを単線で図化します。(初期値:チェック無)











※構造断面図生成時、チェックを入れると全てのブレースを除外して生成します。(初期値: チェック無)





切断位置ラインにかかるブレースを図化しない

※構造断面図生成時、切断位置ライン(部材手前側)にかかる ブレースを除外して生成します。 (初期値:チェック無)



例) 柱手前のSV1が図化されていません。



可視深さラインにかかるブレースを図化しない

※構造断面図生成時、可視深さライン(部材向こう側) にある ブレースを除外して生成します。 (初期値: チェック無)



例) 柱の向こう側にあるSV2が図化されません。



3.5 オプション設定-構造図面生成マネージャー 断面図 📐



https://jp.midasuser.com/building/egen/support/drawing.asp | 85



面図軸	部材リスト		
部材の		☑ 構造断面	図に陰線を図化しない
	- 1187 N 117		The second

12 [階表記の設定]>[階名称]

※階名称を変更したい場合は、生成前にこちらで変更出来ます。

eGen層別名称		階名称	
R階	RF		
5F	5F		
4F	4F		
3F	3F		
2F	2F		
1F	1F		
-	<u>~</u>		
-	Ξ.		
-	2		
-			
-	¥		
-			
-	-		
-			
-	-		
-	H		







構造図面生成	成マネージャー		X
伏軸図面	部林切スト		
部材の	形状表現		
1001-23		☑ 構造断面	国に陰線を国化しない
	an 19 al 724		
-I¥#883	定	13	
階	表記の設定 🛛 🗋	凡例の設定 📃 …	ハッチングパターンを設定 📃
一詳細影	定	13 凡例の設定	ハッチングパターンを設定

[凡例の設定]>[伏軸用リスト名称(凡例)]

13

※軸組図の凡例は、壁スリットと鉄骨継手のみ表記されます。 表記したくない場合は「特記外は下記による」のチェックを外してください。

部材種類	部材リスト名称	伏軸用リスト名称(凡例)	凡例を使用
基準レベル	-	特記以外は下記による	V
スラブ/梁天端レベル	-	スラブ/梁天端レベル	
柱	柱リスト	柱リスト	V
大梁	大梁 リスト	大梁リスト	V
小梁	小梁リスト	小梁リスト	V
地中梁	地中梁リスト	地中梁リスト	V
ブレース	ブレース リスト	ブレース リスト	V
壁	壁リスト	壁 リスト	V
スラブ	スラブ リスト	スラブ リスト	1
独立基礎	独立基礎リスト	独立基礎リスト	1
べた基礎	べた基礎リスト	べた基礎リスト	1
布基礎	布基礎リスト	布基礎リスト	1
鉄骨柱	鉄骨柱リスト	-	
鉄骨大梁	鉄骨大梁 リスト	-	
鉄骨小梁	鉄骨小梁 リスト	-	
鉄骨ブレース	鉄骨ブレースリスト	-	
デッキスラブ	デッキスラブ リスト	デッキスラブ リスト	V
露出柱脚	露出柱脚リスト	-	
梁維手	梁維手リスト	-	



課題. 断面図生成

A-A' 断面図 1:100 B-B' 断面図 1:100

マネージャー設定を調整して断面図を生成してみましょう。 囲み部分が調整して生成した箇所です。



https://jp.midasuser.com/building/egen/support/drawing.asp | 89



デフォルト設定

設定調整図





デフォルト設定



設定調整図



自動生成モード

構造図面生成マネージャーでは、オプションテンプレートで設定出来ない図面の表現方法を設定します。 自動生成前に設定を行います。

図面生成(G) 図面更新(U)	ヘルプ (H)	部材リストを生成			×	
eGenファイルを開く		RC Steel				
		図面の種類	縮尺	部材リストのスタイル	図面枠	
eCent時期を削縮全する		✓ 柱リスト	1:60	柱リスト STYLE 01	midas SHEET A3 List	1
E cocultative in the low		大梁 リスト	1:60	大梁リストSTYLE01	midas SHEET A3 List	
		✓ 小梁 リスト	1:60	小梁リストSTYLE01	midas SHEET A3 List	11
3D モデルに書き出し	•	- 地中梁 リスト	1:60	地中梁リスト STYLE01	midas SHEET A3 List	
		🔽 壁 リスト	1:60	壁リスト STYLE 01	midas SHEET A3 List	11
-		🛛 🔽 スラブ リスト	1:60	スラブリストSTYLE01	midas SHEET A3 List	
構造図面生成マネージャー		🔽 ブレース リスト	1:60	ブレースリスト STYLE01	midas SHEET A3 List	11
-		✓ 独立基礎 リスト	1:60	独立基礎リストSTYLE01	midas SHEET A3 List	11
部材リストテンプレートの編集	•	✓ 布基礎リスト	1:60	布基礎リストSTYLE01	midas SHEET A3 List	
		✓ べた基礎 リスト	1:60	べた基礎リストSTYLE01	midas SHEET A3 List	11
		✓ 杭基礎リスト	1:60	杭基礎リストSTYLE01	midas SHEET A3 List	
構造設計概要を生成		🔽 現場打ち杭 リスト	1:60	現場打ち杭リストSTYLE01	midas SHEET A3 List	11
		🔽 既製杭 リスト	1:60	既成杭リストSTYLE01	midas SHEET A3 List	11
		■ 鋼管杭 リスト	1:60	鋼管杭リストSTYLE01	midas SHEET A3 List	11

2 「部材リスト」を確認します

構造図面生成マネージャー
伏軸図面 部材切入下
1 柱/梁リストで鉄筋のフックを表記 2 鉄筋グループ: ユーザー指定 ・
(3)階表記の設定 … (3)配筋位置名称の設定 … (5)レイアウト設定 …
 ● MIBILLE 空半 ● MIBILLE 空半 ● FL 基準 ● 拾てコンクリート ● 柱頭/柱脚表現形式
 ○ 旗筋表示間隔 砕石 50 縦置型
599 く梁せいく 1200 @ 450 梁世い>= 1200 @ 301 ① 腹筋径 D10 マ
17大梁/地中梁断面スタイル 12 小梁断面スタイル 12 壁リスト (mm)
スラブなし スラブあり スラブなし スラブあり
- 基礎 リスト (mm)
① 上端筋出力 ① 布基礎 下端 配力筋 ① 独立/布 基礎 上端筋
☑ 独立/布 基礎 先端 D13 ▼ 主筋 D13 ▼ @ 3000
→ 旅空中 1013 ▼ 200 日にノカが 元4本 1013 ▼ 6 300
12. 抗基礎の水平補強筋 (2. 地業厚さ)
D13 マ @ 300 捨てコンクリート 50 カモ 100
0+
ヘルプ(F1) OK キャンセル



図面生成マネージャー				×	
共通事項 一柱/梁リストで鉄筋	のフックを表記	2 鉄筋グループ:	ユーザー指定 参考1日本建築学 参考2公共建築的		
柱/梁リストで鉄筋	のフックを表記	ち、 イーい <i>Ferm</i> (1975 3 東京福田478 ユーザー指定	§/ ⊅]	
チェック無(鉄筋	でしょう。(初期順	2. テ⊥ソク無)	チェック有(鉄筋	うつックを表記する)	
符号	C1		符号	C1	
3F 全断面 ↓ ↓→>X	3 ************************************		3F 全断面 ↑ ↑ ★	3	
3F 全断面 ↓ ↓→X 主筋	3 ************************************		3F 全断面 ↑ ↑ 主約	3 3 3 700 8-D25	
3F 全断面 ↓ ↓ →>X 主筋 芯鉄筋	3 ************************************		3F 全断面 ¥ ★ →>X 主筋 芯鉄筋	3 3 700 8-D25 -	
3F 全断面 ↓ ↓ →>X 主筋 芯鉄筋 帯筋 X方向	3 ************************************		3F 全断面 ¥ ★ 主筋 芯鉄筋 帯筋 X方向	3 3 700 8-D25 - 2-D13@100	

鉄筋グループ

※部材リストオプションテンプレートで設定した鉄筋記号で生成されます。

						A:	5			
28(3) 0 44(75) n 448(75) 0	• (02) • • • • • • • • • • • • • • • • • • •) <u>2</u> 21-43(3) 4	PARKS) P 100035	# 488(3) T		12 Balan (2.5.) (d. 1997) Balan Math	4x>			
グループ名	名:参考1.日	日本建築学	숤							
D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
· ·		×	0		×		٠			-@-
- グループ名	名:参考2.4	公共建築協会	숤							
D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
•		¢	•		۲		٥			
グループ名	4:参考3.〕	東京都財務	局							
D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
•		×	•		×		۲		•	
グループ名	3:ユーザ-	一指定								
D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41



			自動生成モード
構造図面生成マネージャー		X	
伏軸図面部材リスト			
■ 柱/梁リストで鉄筋のフックを表記	鉄筋グループ:	□-ザー指定 🔹	
3 階表記の設定 💷	配筋位置名称の設定 📃 …	レイアウト設定 🛄	

3 階表記の設定

※部材リストのタイトル名称を設定します。同部材のリストが複数枚になる場合、部材名称の後にハイフンと数字が自動で生成されます。(初期値:下記)

音B材種類	部材リスト名称	伏軸用リスト名称(凡例)	凡例を使用
基準レベル	-	特記以外は下記による	V
スラブ/梁天端レベル	-	スラブ/梁天端レベル	V
柱	柱リスト	柱リスト	V
大梁	大梁リスト	大梁リスト	V
小梁	小梁リスト	小梁 リスト	V
地中梁	地中梁 リスト	地中梁リスト	V
ブレース	ブレース リスト	ブレース リスト	V
壁	壁リスト	壁 リスト	V
スラブ	スラブ リスト	スラブ リスト	V
独立基礎	独立基礎リスト	独立基礎リスト	V
べた基礎	べた基礎リスト	べた基礎リスト	V
布基礎	布基礎リスト	布基礎リスト	V
鉄骨柱	鉄骨柱リスト	-	
鉄骨大梁	鉄骨大梁 リスト	-	
鉄骨小梁	鉄骨小梁リスト	-	
鉄骨ブレース	鉄骨ブレースリスト	-	





面生成マネージャー				x	
<u> 副図面</u> 音PM1リスト					
共通事項					
── 柱/梁リストで鉄筋のフックを	表記	鉄筋グループ:	コーザー指定	-	
詳細設定					
階表記の設定 📃 🛄	4 配筋位置名称	かの設定 🛄	レイアウト設定		
配肋位直名称の設定			(+		
壁のリスト内の表記文字を設置	定します。下記、表記文字	字欄で変更が可能です。	(初期値: 下記)		
名称 部材以入入名称一覧表 配筋位	置名称				
	- 梁の断面位置名称				
<u>梁りスト</u>	断面位置	表記文字	^		
壁リスト	全断面	全断面			
地下外壁リスト	右端	右端			
	両端	両端			
	中央	中央			
	- 大沙 !	-			
			61		62
	_ 付ち		ui	-	02
	- 12.直	左痛	Ψ Υ	白垢	主新国
	-				
	-	FL.			
		Г ⁻ .	· C 8	É 8	
	Digit	8		65	
	R階	2 ⁸	2	2	L
	R階	2 2	2 ²	2 2	400
	R階	2 2	2	2	400
	R階		<u> </u>	2 2	
洋細設定	R陸	2 S	2 400	2 - D25	
洋細設定 名称 部材リスト名称一覧表 配筋位	R階 置名称		2 400	2 - D25	2 - 025
洋細設定 名称 部利ルスト名称一覧表 配筋位 塗リスト	R階 第 名称 壁の配筋位置名称	2 S		2 - D25	2 - 025
洋細設定 名称 部材加スト名称一覧表 配筋位 楽リスト 壁リスト	R階 置名称 壁の配筋位置名称 配筋名	2 400 表記文字	2 400	2 - D25	2 - 025
洋細設定 名称 部材加スト名称一覧表 配筋位 (梁リスト	R階 置名称 壁の配筋位置名称 配筋名 縦筋	2 400 表記文字 縦筋 操築		L 2 2 400 2 - D25 壁 リスト	2 - 025
^{羊細設定} 名称 部材ルスト名称一覧表 配筋位 梁リスト 壁リスト 地下外壁リスト	R階 置名称 壁の配筋位置名称 壁筋名 縦筋 横筋 -	▲ 400 →		2 - 125 登リスト 符号 EV	2 - 025
詳細設定 名称 部材リスト名称一覧表 配筋位 深リスト 壁リスト 地下外壁リスト	R 置 名称 壁の 配 筋 位置 名称	※ 2 400 表記文字 縦筋 横筋 - - -		L 2 - 125 2 - 125 辞号 リスト (3	2 - 025 (130 00,
祥細設定 名称 部村リスト名称一覧表 配筋位 楽リスト 壁リスト 地下外壁リスト	R階 置名称 壁の配筋位置名称 壁の配筋位置名称 配筋名 縦筋 横筋 - - - - - - - - - - - - - - - -	2 400 2 2 400 2 3 2 400 400 400 400 400 400 400		ビリスト 2 - D25 辞号 ビ 。 。	2 - D25
祥細設定 名称 部材リスト名称一覧表 配筋位 梁リスト 壁リスト 地下外壁リスト	R階 置名称 壁の配筋位置名称 壁の配筋位置名称 単応筋名 縦筋 横筋 -	2 2 400 2 400 2 2 3 400 3 2 3 3 3 4 3 4 3 5 3 4 3 5 3 4 3 5 3 6 3 7 3 7 3 8 3 9 3		2 - D25 2 - D25 登リスト 符号 EV	2 - D25
洋細設定 名称 部材Jスト名称一覧表 配筋位 梁リスト 壁リスト 地下外壁リスト	R階 置名称 壁の配筋位置名称 壁の配筋位置名称 単筋名 縦筋 一 - <	2 3 400 2 400 4 支記文字 2 縦筋 横筋 1 - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - -		2 - D25 登リスト 符号 EV	130 00, 145
詳細設定 名称 部材リスト名称一覧表 配筋位 梁リスト 壁リスト 地下外壁リスト	R階 第名称 壁の配筋位置名称 一 和前筋名 縦筋 横筋 - </td <td>2 8 400 2 400 400 表記文字 縦筋 横筋 - - - <tr< td=""><td></td><td>2 - D25 登リスト 符号 EV 、3</td><td>130 00. 11. 11.55</td></tr<></td>	2 8 400 2 400 400 表記文字 縦筋 横筋 - - - <tr< td=""><td></td><td>2 - D25 登リスト 符号 EV 、3</td><td>130 00. 11. 11.55</td></tr<>		2 - D25 登リスト 符号 EV 、3	130 00. 11. 11.55
祥細設定 名称 部材リスト名称一覧表 配筋位 梁リスト 壁リスト 地下外壁リスト	R	2 3 400 2 400 3 表記文字 3 縦筋 4 横筋 - - - <		2 - 125 登リスト 符号 EV	x30 00, 11,25
^{祥細設定} 名称 部材リスト名称一覧表 配筋位 楽リスト 壁リスト 地下外壁リスト	R階 建の配筋位置名称 壁の配筋位置名称 単の配筋位置名称 0 1			2 - D25 登リスト 符号 EV 新西	X30 00, HE55 HE55 HE55
¥細設定 名称 部材リスト名称一覧表 配筋位 梁リスト 壁リスト 地下外壁リスト	R階 置名称 壁の配筋位置名称 壁の配筋位置名称 一 縦筋 横筋 - <td>2 2 400 2 400 2 縦筋 4 横筋 - - -</td> <td></td> <td>2 - D25 登リスト 符号 EV 新西</td> <td>2 - D25</td>	2 2 400 2 400 2 縦筋 4 横筋 - - -		2 - D25 登リスト 符号 EV 新西	2 - D25
洋細設定 名称 部材リスト名称一覧表 配筋位 梁リスト 登リスト 地下外壁リスト	R階 建の配筋位置名称 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2 4 2 3 4 4 2 4 2 4 2 3 4 4 5 5 6 6 7 8 10 11 12 13 14 15 14 15 16 17 18 19 10 10 110 111 111 111 111 111 111 111 112 113	2 2 400 2 400 2 400 2 2 3 400 3 5 5 400 3 5 5 400 3 5 5 6 5 7 5 7 5 8 5 9 5 10 5 10 5 10 5 11 5 12 5 13 5 14 5 15 5 16 5 17 5 18 5 19 5 10 5 10 5 10 5 11 5 12 5 13 5 14 5 15 5 16 5 17 5<		2 - D25 登リスト 符号 EV 新毎 EV	130 00 130 130 130 130 130 130 1



						自動生成モード
構造図面生成マネー	ジャー					
一共通事項						
■ 柱/梁リスト	で鉄筋のフックを表記		鉄筋グループ:	ユーザー指定	•	
階表記の調	(e	配筋位置名称の設定		5 61775	設定	

5 レイアウト設定

※部材リストをご自身のレイアウトに近づけて自動生成する設定機能です。(初期値:下記)

	部材リスト	🔊 リスト枠設定	<u>₿</u> フィット	€階統合	🕞 断面表記	13区切り線
(F	RC) 柱リスト-断面形式					
(F	RC)大梁リストー断面形式				自動認識	
(F	RC) 小梁リスト-断面形式				自動認識	
(F	RC) 地中梁リストー断面形式				自動認識	
(F	RC)ブレースリストー断面形式					
(F	RC) 壁リストー断面形式					
(F	RC) スラブリストー表形式					
(考	巷礎) 独立基礎リストー断面形式					
(考	基礎) 布基礎リストー断面形式					
(考	基礎) ベタ基礎リストー表形式					
(考	基礎) 杭基礎リストー断面形式					
(表	치)現場打ち杭リスト-断面形式					
(表	亢) 既製杭リストー表形式					
(表	亢) 鋼管杭リストー表形式					
(S)) 柱リストー断面形式					
(S)) 柱リストー 表形式					
(S))大梁リストー断面形式					
(S))大梁リストー表形式					
(S))小梁リストー断面形式					
(S) 小梁リストー表形式					
(S)) ブレースリストー断面形式					
(S)) ブレースリストー表形式					
(S)) デッキスラブリストー表形式					
(S)露出柱脚リストー表形式					
(S)) 継手部リストー表形式					



3.6 オプション設定 – 構造図面生成マネージャー 部材リスト

					自動生成モード
部材リスト自動レイアウト設定					X
部材リスト	▲リスト枠設定	7791	階統合	断面表記	区切り線
54 リスト枠設定(断面形式)					
※部材ごとにリスト枠のサイズや表記文字 画層レイヤーや文字・寸法スタイルは「	でを設定します。 部材リストオプションテンプレー	・ト」にて変更がす	可能です。		
例:(RC)小梁リストー断面形式(他語	邸材については、「midas Dr	awing online	e help」をご覧下	さい)	
		リスト枠のサイス	べを設定します。		



②図とリスト枠線の空き間隔を設定します。

③スラブ線の長さ(梁のみ設定可能)を設定します。

④寸法補助線の長さを設定します。

⑤リスト枠サイズ決定の基準となる断面寸法値を設定。 縮尺に依存します。

⑥断面省略オプションのための基準となる断面寸法値を設定。 (未対応)

上記単位:mm

⑦鉄筋の名称を設定します。

※リスト項目の表示順序変更は非対応です。



	17213							
	部村	加スト	(A)	スト枠設定	フィット	階統合	断面表記	区切り線
リスト枠設定	E(表形式	<u>,</u>)						
限までした。 「「「「「」」	ややのサイン	べや表記文言	を設定します。	-> -> ->				
則曽レイヤーや	又子・寸法	ムイタイルは	部材リストオノン	ヨンテンノレー	・ト」に(変更))「「肥です。		
: (RC)スラブ	Jストー表用	形式_STYL	E 02 (STYLE	01は凡例が無	もりタイプです)			× I
.ラブリスト-表形5	C							
LE 01 STYLE 02]							
				3 230.0	10			
1								
				4				
.00			в (c 🟹	Ľ			
			v					
				LX/4				
			Ly-Lx/2	Lx/4	+*	⁺≁∽=┑₽		
			Ly		~ 王即 境界	17回記ち 条件部(壁,梁など)		
i0 符号	; 厚さ	位置	A #8	в≞β	C 部	D≞β	備考	
10			耑筋 D130200	D10@200	D108200	D10@200		
	200	<u> </u>	耑筋 D100200	D130200	D100200	D100200		
		┃ 配力筋 ┃ 上!	耑筋 D100200	D100200	D10@200	D100200		
	h		ដ筋 D100200	D100200	D100200	D100200		
20.00	<u>+</u>		2 25.00	_		↓	2 50.00	
2 5 項目の表子順応								
主相		米 早	夕称					
उत्पन्त		1	 符号					
		2	厚さ					E
	×	3	位置					
		4	HEP R#R					

①リスト枠の高さサイズを設定します。

②リスト枠の幅サイズを設定します

③②で設定した幅サイズを自動計算して 全体幅サイズを決定します。

④鉄筋の名称を設定します。

※リスト項目の表示順序変更は非対応です。

※STYLEは「部材リストを生成」ダイアログの「部材リストのスタイル」にて指定します。

RC	Steel			
	図面の種類	縮尺	部材リストのスタイル	図面枠
	柱リスト	1:40	在リスト STYLE UI	midas SHEET A3 List
	大梁 リスト	1:40	大梁リストSTYLE01	midas SHEET A3 List
	小梁リスト	1:40	小梁リストSTYLE01	midas SHEET A3 List
	地中梁 リスト	1:40	地中梁リスト STYLE01	midas SHEET A3 List
	壁 リスト	1:40	壁リスト STYLE 01	midas SHEET A3 List
	🗸 スラブ リスト	1:40	スラブリストSTYLE01	midas SHEET A3 List
	ブレース リスト	1:40	スラブリストSTYLE01	midas SHEET A3 List
	独立基礎リスト	1:60	257U2FSTYLE02	midas SHEET A3 List
		1:60	布基礎リストSTYLE01	midas SHEET A3 List





5B フィット

※作図領域にぴったりはまるように自動生成する機能です。柱と梁リストが対応しています。(初期値:チェック無)



チェックなし(この場合、リスト枠サイズは、「リスト枠設定」で設定されたサイズで生成されます)







5C

階統合

チェック有







注)階符号はデフォルメして表現しています。



						自動生成モード
部材り	ノスト自動レイアウト設定					X
	部材リスト	リスト枠設定	フィット	階統合	助面表記	区切り線

5D 断面表記

※断面位置の表記を選択する機能です。大梁、小梁、地中梁が対応しています。(初期値:自動認識)

自動認識(eGen情報より「全断面」>「両端・中央」>「左端・中央・右端」のいずれかが適用されます。)

■ 大梁 リ	ノスト		
符号	61		G2
位置	両靖	中央	全断面
1F			₹FL 3 400
上端主防	6 - D22	4 - D22	3 - D19
下端主筋	4 - D22	4 - D22	3 - D19
肋筋	3-D13@200	3-D13@200	2-0100200
腹筋	2-010	2-010	2-D10

3断面(eGen情報に関係なく「左端・中央・右端」の3断面形式で生成します。)

■ 大梁 リ	スト					
符号		GI			62	
位置	左端	中央	右端	左端	中央	右端
TF		400	4 4 400			400 J
上端主筋	6 - D22	4 - D22	6 - D22	3 - D19	3 - D19	3 - D19
下端主筋	4 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D19	3 - D19	3 - D19
肋筋	3-D13@200	3-D139200	3-D13@200	2-D108200	2-D10@200	2-D100200
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10



					自動生成モ-
リスト自動レイアウト設定					
部材リスト	リスト枠設定	フィット	階統合	断面表記	■区切り線
▶ (RC) 柱リスト-断面形式					
				自動認識	
(S) 維手部リスト-表形式					
● 补刀期化			(OK	キャンセル

5E 区切り線

※断面位置で区切られた線を出力する機能です。(初期値:チェック無)

チェック無

チェック有





※「部材リスト自動レイアウト設定」で変更した全てをインストール時の状態に戻す機能です。 ご自身で設定したものに戻すことができませんので、ご注意ください。





階レベル線表示

※FL表記を出力するオプションです。(初期値: チェック有)





断面配置基準

※FLを基準に断面図を配置するか、断面図の天端を基準にFLを配置するか選択できるオプションです。(初期値: FL 基準)

FL 基準



梁天端基準



※赤字は説明箇所を強調しています。




※赤字は説明箇所を強調しています。 青字も説明箇所を強調していますが、生成されません。



3.6 オプション設定 -構造図面生成マネージャー 部材リスト





- 基礎 リスト (mm)	13 五共礎下は	<u> </u>	① 独立/布 基礎 上編		
☑ 独立/布 基礎	● 小型電 13 先端 一般部	D13 • D13 • D13 • @ 200	● 1500 小加 坐醒 生机 主筋 配力筋 先端	D13 • @	300
杭基礎の水平補強筋 □13 ▼	@ 300	地業厚さ 捨てコンクリート 砕石	50 100	<u>D13</u> ▲	300
ヘJレプ(F1)				OK) キャンセル

15 上端筋出力

※独立基礎と布基礎の上端筋を出力するオプションです。 鉄筋径は「独立/布基礎上端筋」で選択可能です(初期値:チェック有)



自動生成モード

16 布基礎 下端 配力筋

※布基礎の下端配力筋の鉄筋径を選択するオプションです。 (初期値:先端 D13、一般部D13@200)



17 独立/布 基礎 上端筋

※独立基礎と布基礎の上端筋の鉄筋径とピッチを選択する オプションです。 (初期値:主筋D13@300、配力筋先端 D13、





3.6 オプション設定 -構造図面生成マネージャー 部材リスト

			自動生成モード
─ 基礎 リスト (mm) ────			
上端筋出力	布基礎 下端 配力筋	独立/布 基礎 上端筋	
■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	先端 D13 ▼	主筋 D13 ▼ @ 300	
	→般部 D13 ▼ @ 200	配力筋 先端 D13 👻	
		配力筋 一般部 D13 👻 @ 300	
13 杭基礎の水平補強筋 □13 ▼ @	19 地業厚さ 300 捨てコンクリート 砕石	50 100	
ヘルプ(F1)		OK キャンセル	

18 杭基礎の水平補強筋

※杭基礎の水平補強筋の鉄筋径とピッチを設定します。(初期値:D13 @300)



19 地業厚さ

※基礎の捨てコンクリートと砕石の成を決定するオプションです。(初期値: 捨てコンクリート / 50、砕石 / 100)



※赤字は説明箇所を強調しています。 青字も説明箇所を強調していますが、生成されません。

課題. 部材リスト生成

大梁リスト 1:60

マネージャー設定を調整して部材リストを生成してみましょう。 囲み部分が調整して生成した箇所です。



S -100 民面番号 0001 000 I 2-D138100 5 - D25 5 - D25 5 - D25 5 - D25 3-013@100 0000 400 4-D13 4-D13 も 0000 00000 400 ₽ G104 2 0001 ____1 L Jr 0001 -_ _ . 9 - D25 5 - D25 2-D13@100 4-D13 9 - D25 5 - D25 3-D13@100 400 400 0000 00000 00000 00000 4-D13 素回 源回 1000 0001 Ì 5 - D25 5 - D25 3-D13@100 5 - 025 5 - 025 2-013@100 4-013 400 400 4-D13 ₽ 0000 丧 G103 0001 1000 I プロジェクト名 Drawing 基本講習 00000 7 - D25 5 - D25 2-D13@100 7 - D25 5 - D25 3-D13@100 00000 4-D13 調問 4-D13 400 400 渡回 大梁 リスト 1000 0001 5 - D25 8 - D25 3-D13@100 4-D13 5 - D25 8 - D25 3-D13@100 000 400 00000 400 ₽ 电 4-D13 図面名 G102 1000 000 3-D13@100 4-D13 7 - D25 5 - D25 3-D13@100 7 - D25 5 - D25 淵恒 400 4-D13 渡回 0000 400 0000 20** ** ** 0001 0001 I 1:40 2-D138200 4-D13 5 - D25 5 - D25 2-D13@200 4-D13 400 5 - D25 5 - D25 全断面 全断面 400 0000 G101 **王** 第 日付 009 009 ľ 3 - D22 3 - D22 2-D13@200 2-D13@200 3 - D22 3 - D22 全断面 400 全断面 400 1 2-013 ſ 1 2-D13 65 作成 009 009 4 - D22 5 - D22 2-D13@200 4 - D22 5 - D22 2-0138200 400 400 2-013 丧 2-013 l ₽₩ 64 009 009 I 4 - D22 4 - D22 2-D13@200 2-D13 4 - D22 4 - D22 2-0138200 Ĩ 400 400 : 1 糖園 新同 2-D13 009 009 3 - D22 3 - D22 2-013@200 2-013 3 - D22 3 - D22 2-D13@200 全断面 全断面 400 1 400 1 2-D13 63 009 009 4 - D22 4 - D22 2-D13@200 2-D13 2-D13@200 2-D13 4 - D22 4 - D22 1 ----400 400 -来 电电 62 009 009 5 - D22 4 - D22 2-D13@200 5 - D22 4 - D22 2-0138200 -400 2-013 -400 2-D13 素同 装置 009 009 Ì 2-0138200 2-013 4 - D22 4 - D22 2-D13@200 2-D13 4 - D22 4 - D22 全断面 全断面 1 400 400 GI 1 じょ 大愛 上端主筋 上端主勞 下端主筋 新士祥 符号 位置 遊戲 位置 把 把 把 3F 2F 特記



オプションテンプレート

オプションテンプレートは、複数作成することが可能なので、取引先や物件毎に作成することが出来ます。 ここでは既存のオプションテンプレートをコピーするところから始めます。 ※オプションテンプレートでは、UNDO(元に戻す)をすると、設定変更が全て初期化され、変更内容が保存されません。

■全 4 STEP

STEP1.オプションテンプレートをコピー

STEP 2. 鉄筋記号グループの編集/登録

STEP3. 部材リストオプションテンプレートに保存

STEP4. 部材リスト生成に使用する

1. オプションテンプレートをコピー

■既存のオプションテンプレートをコピーしてから開く







鉄筋記号グループは部材リスト・オプションテンプレートに保存されます。 オプションテンプレート 鉄筋記号グループの編集や登録は部材リストオプションテンプレートを開いてから設定します。 2. 鉄筋記号グループの編集/登録 2-1. 鉄筋記号グループの編集 すでに登録されている鉄筋記号グループを編集する方法です。 編集したい部材リストオプションテンプレートを開きます。 ユーザー指定グループを編集 鉄筋記号グループの編集 2 [グループ>ユーザー指定]を選択 「図面生成>部材リストテンプレートの編集> 新たにグループを作成することも可能です。 鉄筋グループ登録及び編集]を選択 次項をご覧下さい。 鉄筋記号の設定 -グループ 参考1.日本建筑学会 Del 参考1.日本建築学会 参考2.公共建築協会 鉄筋径 参考3.東京都財務局 3D モデルに書き出し D10 ٠ D13 D13_9 Ŧ X D16 10 Ŧ D16 📅 部材リスト形式を編集 部材リストテンプレートの編集 D19 С D19_2 • ₩₩ 鉄筋グループ登録及び編集.. φ D22 D22_3 • D25 D25 4 • ۲ D29 D29_11 • 軸組図·断面図を生成 ۲ D32 D32_12 • Q D35 D35 13 Ŧ 0 D38 D38_5 -0 D41 D41_6 OK キャンセル 鉄筋記号を選択 ※プルダウンして選択してください。 鉄筋記号一覧は次ページをご覧下さい。 失筋記号の設定 鉄筋記号の設定 グループ ユーザー指定 - Del グループ フーザー指定 Del 鉄筋径 鉄筋径 D10 D10_8 • D10 D10_1 • D13 $|\times$ D13 D13 2 D13 1 • • • θ • D16_9 D16_3 -D16 D16 \boxtimes D19 D19_8 D19 D19_4 • Ŧ 0 • D22 D22 3 D22 D22 5 • D25 0 D25_2 (__ D25 D25_6 -8 0 D29 D29_5 • D29 D29_7 • X D32 • D32 D32_8 -D32_4 8 • D35 D35 -D35 7 • D35 9 Ĩ D38 D38_10 D38_10 -• D38 • \odot D41 D41_6 D41 D41_11 • ОК キャンセル ОК キャンセル 「OK」をクリック

2-2. 鉄筋記号グループの登録

※鉄筋グループは複数作成することが可能です。登録されていない名称を入力すると新規作成となります。



010	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	038	D41
	+	*	o	+	×	۲	•	œ	۵	-
グループ4	名:参考2. {	公共建築協会	h.							
D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	035	D38	D41
•	×	÷	•	o	÷	8	0			
グループキ	名:参考3.]	東京都財務 (3							
D10	D13	D16	D19	D22	D26	D29	D32	D35	D38	041
	×	ж	•	٥	×	ø	Ø	•	÷	
グループキ	₿:ユ - ザ-	一指定								
D1 0	D13	D16	D19	D22	D25	029	032	035	038	041
任	意の位置	に配置	•	÷	o	٥	Ø	Ø	۲	-
ALDAS			• • • • • • •	•••••		•••••				
D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	038	D41
	+	*	0	•	X	0		Ø	Ø	-@-

※新規に鉄筋グループ欄が作られるので、任意の位置に配置してください。

オプションテンプレート

「OK」をクリック

3.7 オプション設定-鉄筋記号グループの登録



オプションテンプレート

No.	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2	۰	D	Q	o	0	0	0	0	0	0	0
3	*	-8-	÷	¢	÷	÷	÷	÷	÷	¢	φ
4	>	×	×	×	ø	×	ø	×	×	×	Ø
5	•	0	c	۵	Ø	۵	0	۲	۵	0	0
6	+	•	-\$-	*	÷	-@-	-	. @-	-	•	\$
7	•	×	ж	×)6	X	ø	œ	ø	ø	ø
8	•	•	•	•	•	•	•	•	•	٠	•
9	+	+	+	+	-	•	•	•	•	+	-
10	•	×	ж	×	*	×	*	۲	۲	۲	*
11	•	•	÷	۲	۲	۲	۲	۲	۲	۲	۲
12	+	+	-9-	-æ-	-@-	-@-		۲	۲	۲	۲
13	×	×	×	×)ai	X	×	×	8	ø	Ì
14	ø	ø	ø	ø	ø	ø	ø	ø	ø	ø	Ø
15	•	×	¥	æ	ø	ø	ø	ø	ø	ø	Ø
16	•		*	•	ø	*	۲	۴	۲	۲	۲
17	*		9	ø	ġ	ø	ø	ø	ø	ø	ø

◎鉄筋記号一覧表(鉄筋径をD10でNo.1を選択した場合、ブロック名は「D10_1」となります)

◎鉄筋グループ:ユーザー指定の初期値

D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
٠	×	+	•	÷	0	0	×	ø	×	-



4. 部材リスト生成時に使用する

設定した鉄筋記号グループを自動生成時に使用するには、構造図面生成マネージャーを変更します。



初めての人が遭遇しやすい問題と解決策

- Q1. 構造図を生成したが、印刷や書き出しが実行できない。
- A1. 印刷や書き出しはCAD機能です。 CAD機能はCADモードで使用可能となりますので、<mark>生成図をCADモードに配置してから実行</mark>してください。
- Q2. RC部材の小梁リストやスラブリストが生成できない。
- A2. midas eGen ファイルで配筋情報がないと部材リストを生成できません。 eGen でRC断面検定入力情報をご確認ください。



- Q3. 登録した図面枠を他のPCでも利用したい場合、そのPCでも登録作業が必要ですか?
- A3. 図面枠を配置したDrawingファイルを保存して、他のPCで開いて図面枠をホストファイルに上書きすれば利用可能となります。



- Q4. 登録した鉄筋記号グループを他のPCでも利用したい場合、そのPCでも登録作業が必要ですか?
- A4. 鉄筋記号グループは部材リストオプションテンプレートに保存されます。 <mark>オプションテンプレートファイルをそのPCにコピー</mark>すれば利用可能となります。 ファイルは「C:¥MIDAS¥SystemFiles¥DRAWING_JP¥List Templates」フォルダにあります。

- Q5. 自動生成時に"挿入基点を指定"と出るが、画面に何も表示されない。
- A5. 現在レイヤー(画層)が非活性になっていませんか。 生成時のプレビュー線のレイヤー(画層)は"0(ゼロ)"です。 生成図を配置後で構いませんので、<mark>当該レイヤーを活性化</mark>してください。

Def L こ る ファイル(F) 編集(E	← → _₹ E) ビュー(V) 挿,								
≝ ♥米毱∎■ □	•								
画層プロパティ管理									×
現在の両層:0									
6 B	× <								O
フィルター ペ	状態 名称	オン	フリーズ	ロック	色	線種	線の太さ	透過率	印刷기
<u>⊟</u>	🖌 0	8	*	<u> </u>	🔲 white	Continuous	——— 基本值	0	Color_
	🥏 G-REGION-VIEW	8	*		145	Continuous	——— 基本値	0	Color_
_	🖉 Defpoints	8	*		🔲 white	Continuous	——— 基本值	0	Color_

- Q6. 自動生成図を作業空間に配置しましたが、図が表示されません。
- A6. 配置時にマウスやキーボードで操作を行うと、画面表示を中断して操作を優先しようとします。 画面再作図コマンドを実行すれば表示されます。(再作図コマンド: REGEN)



- Q7. 通り名の付いていない通り(フレーム)を図面生成できますか?
- A7. 通り名の付いていない通り(フレーム)は「軸組図生成」機能では図面生成できません。 midas eGen にて通り(フレーム)を登録する必要があります。 もしくは「構造断面図」機能で図面生成</mark>を実行します。

4. 困ったときは

その他の問題と解決策

使い続けることで問題に遭遇したら、学習と技術サポート(学習サイト)に来てみてください。 学習サイトへはDrawingを起動中にF1キーを押すことですぐに移動することが出来ます。。

https://jp.midasuser.com/building/egen/support/drawing.asp

midas eGen i Drawing 学習と技術サポート セミナー情報	(14-3) (14-3)
Nuldas Drawing 学習と技術サポート	midas Drawingに関する検索 Q
A B C 操作の学習 合調 ヘルプ 小レプ しょくある質問 トラブルの対策 FAQ ○	技術資料 ダイレクト 技術問い合わせ

A. 操作の学習

Drawingの各種操作方法を学習できる資料をまとめています。まずは、ここで操作を覚えましょう。

B. ヘルプ

Drawingの各種機能の説明があります。使い方が分からなかったら、ここを見てみましょう。

C. よくある質問 トラブルの対策

皆様からよく届く質問に対する回答をFAQとして公開しています。

D. 技術資料

DrawingのCADで使用する IRX(3rd Partyプログラム) や オプションテンプレート を公開しています。

E. 検索アドレスバー

何か資料を探したいときは、ここからいつでも検索できます。

もし解決策が分からない場合は

学習サイトで調べても分からない場合にはWeb(ダイレクト技術問い合わせ)でお問い合わせください。

midas eGen I Drawing 学習と技術サポート セミナー情報	(1977) (714-ÿ)
Nindas Drawing 学習と技術サポート	midas Drawingに聞する秘密 Q
操作の学習 ヘルブ しよくある質問 トラブルの対策 び FAQ	料 🖳 ダイレクト 技術問い合わせ 😰
トップページ > 投新リポート > ダイレクト投新問い合わせ ダイレクト技術問い合わせ	
Webでのお問い合わせ	
サポート専用サイト「ダイレクト技術問い合わせ」をユーザーID別にご提供しております。 過去のお同い合わせの履歴を一覧できますので、製品使用に関する技術データベースとしてもご活用いただけます。 お問い合わせフォームにご入力いただいたメールアドレスへ確認メールが自動送信されます。 お問い合わせは受付け順に内容を確認の上、担当者からご連絡を差し上げます。	and a start of the
■ダイレクト技術問い合わせ	Тър

MIDAS BUILDING SOFTWARE

a total of over 30,000 licenses used worldwide in over 110 countries The Largest CAE Software Developer in Civil Engineering





多様な解析を実現する 汎用解析ソフトウェア

midas iGenは、建物全体のフレーム解析から FEMによる詳細解析まで、建築構造分野での 様々なニーズに応える汎用解析ソフトウェアです。

どのような形状でもモデリングが可能で、静的 解析、板・ソリッド要素などのFEM解析、免・制振、 材料・幾何非線形解析、増分解析など多様な 解析を効率良く行うことができます。





形状に制限がない 一貫構造計算ソフトウェア

midas eGenは、形状に制限がない一貫構造計算 ソフトウェアです。

CAD基盤の新しいモデリング機能や、簡単で 便利な作業環境を提供します。また、部材ごと に所属層を分類できる「層グループ」の概念が 導入されているため、層の不整形な建物の 合理的な設計が行なえます。





建築構造図面の自動生成CAD

midas Drawingは、情報基盤CADです。midas eGenから3次元の構造モデル情報を取得し、 ワンクリックで、伏図・軸組図・部材リストを 自動生成することができます。

実施設計レベルの図面品質はもちろん、構造 計算書との整合性を確保します。また、eGenの モデルの変更を図面に自動で更新できるため、 プロジェクトを通して図面作業の効率化が 図れます。